

資料2

平成29年12月5日

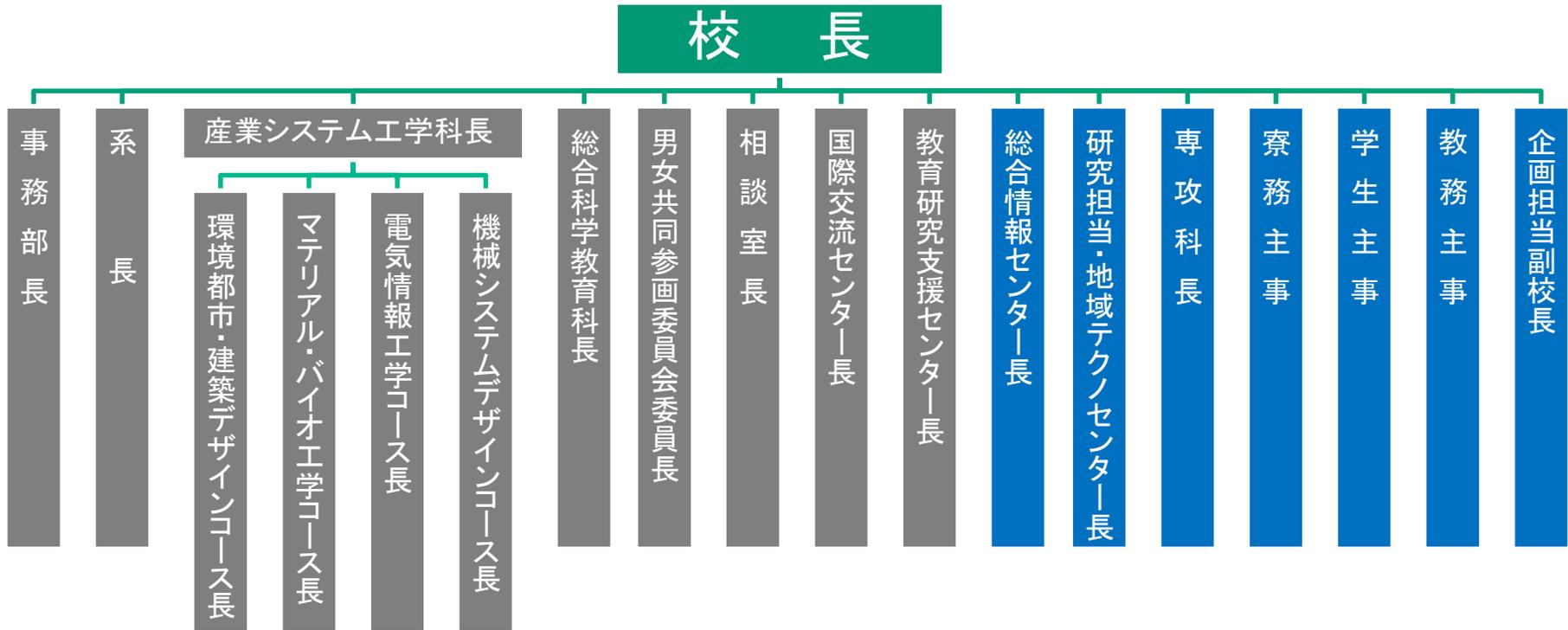
平成29年度評議員会(外部評価委員会)資料  
八戸高専の最近の状況について

八戸工業高等専門学校

# 目次

1	組織・運営体制、委員会等	p1	-	p2
2	教職員およびFD	p3		
3	予算・決算関係	p4	-	p5
4	教育関係	p6	-	p13
5	入学者の確保	p14	-	p17
6	進路	p18	-	p23
7	学生の支援関係(厚生補導関係)	p24	-	p33
8	学生の支援関係(寮務関係)	p34	-	p37
9	教育環境の整備、情報セキュリティ等	p38	-	p46
10	国際交流関係	p47	-	p60
11	研究活動及び社会との連携関係	p61	-	p71
12	相談室関係	p72	-	p78
13	男女共同参画関係	p79	-	p83
14	リスク管理関係	p84		
15	施設関係	p85	-	p87
16	水道光熱費関係	p88	-	p95
17	支援団体関係	p96		

# 校長を中心とした効果的・機能的な組織・運営体制



 は、副校長

意思決定 = 企画室会議・運営委員会



教員会議

# 主な委員会等

- ・運営委員会
- ・企画室会議
- ・入学者選抜委員会
- ・教務委員会
- ・厚生補導委員会
- ・寮務委員会
- ・専攻科委員会
- ・国際交流センター会議
- ・総合情報センター委員会
- ・地域テクノセンター委員会
- ・教育研究支援センター委員会
- ・相談室運営委員会
- ・進路支援等委員会
- ・広報委員会
- ・リスク管理室会議
- ・施設整備計画委員会
- ・男女共同参画委員会
- ・教育プログラム委員会

# 教職員およびFD

平成29年12月1日現在

## ・教員 64名(男性59名、女性5名)

**女性比率 7.8%** (全国高専女性教員比率 10.5%、H29.5.1現在)

校長、総合21(3)名、機械システム11名、電気情報11名、マテリアル12(2)名、都市建築8名

## ・職員

事務部 32名(男性18名、女性14名)

教育研究支援センター 9名(男性9名)

**女性比率 34.1%** (全国高専女性職員比率 29.3%、H29.5.1現在)

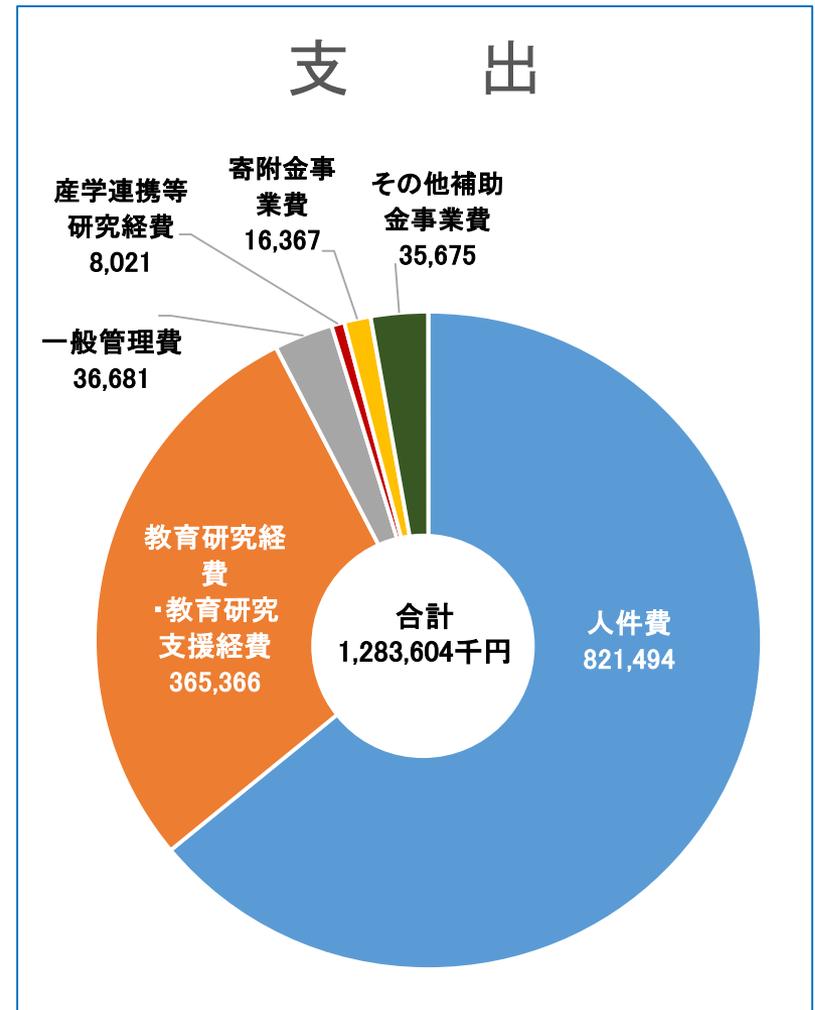
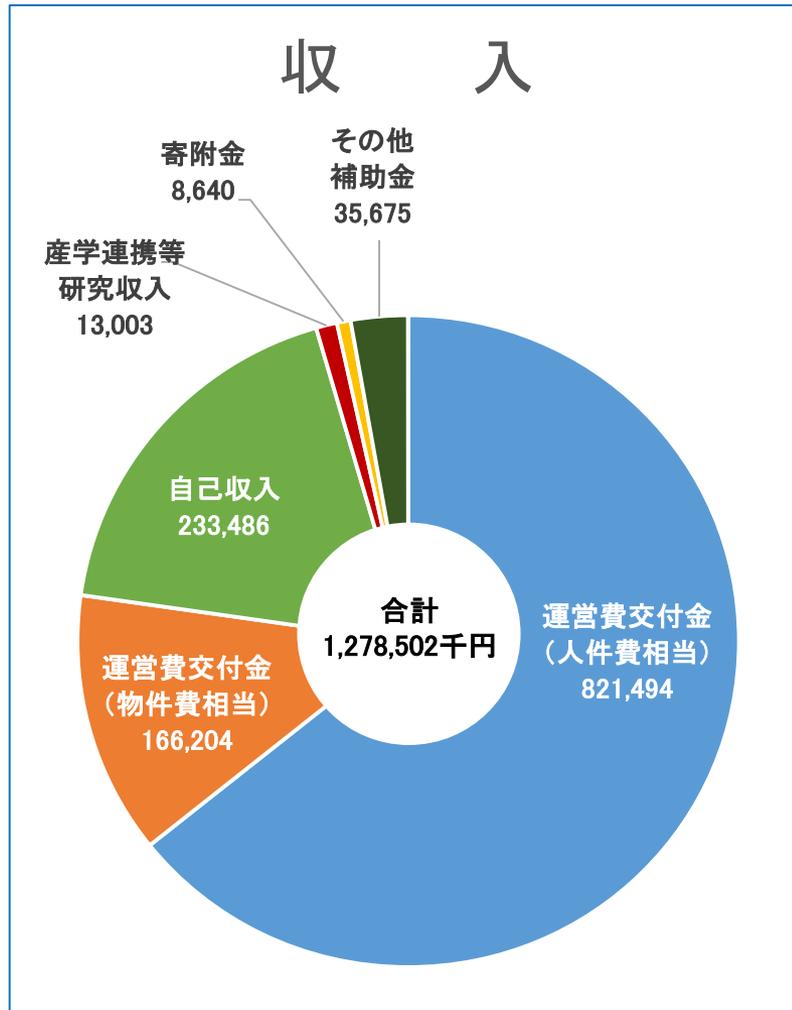
## ・FDの実施

- ＞ 授業の質の向上を図ることを目的としたオープン授業の実施
- ＞ メンタルヘルス研究集会、学生相談研修会等への参加報告会の実施 など

## ・各種研修等への参加

# 予算・決算

## 平成28年度決算額 (単位:千円)



※人件費は機構本部で管理しているが、人件費相当額を運営費交付金収入として計上した。

# 財源別決算額の推移

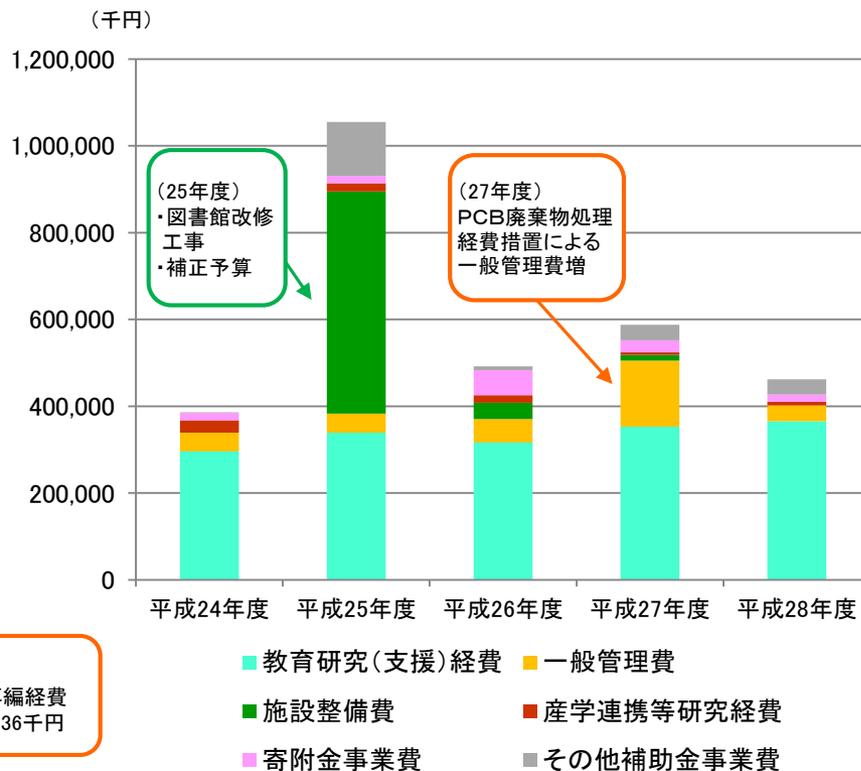
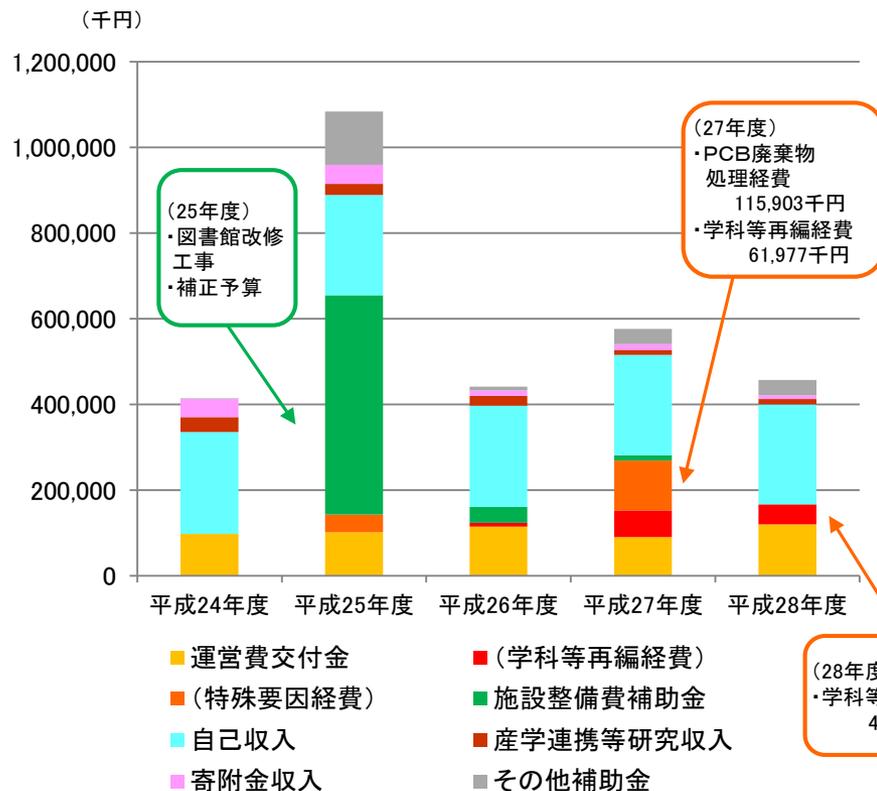
(単位: 千円)

収入	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
運営費交付金	97,835	142,450	123,312	268,313	166,204
(うち学科等再編経費)	0	0	8,868	61,977	46,536
(うち特殊要因経費)	0	41,087	0	115,903	0
施設整備費補助金	0	512,149	37,400	12,690	0
自己収入	237,850	234,066	236,090	234,280	233,486
産学連携等研究収入	34,133	26,294	23,030	11,819	13,003
寄附金収入	42,749	44,417	12,850	13,349	8,640
その他補助金	1,329	124,183	8,768	35,771	35,675
合計	413,896	1,083,559	441,450	576,222	457,008

(単位: 千円)

支出	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
教育研究(支援)経費	296,217	338,868	316,248	352,600	365,366
一般管理費	43,092	44,065	54,113	152,660	36,680
施設整備費	0	512,149	37,400	12,690	0
産学連携等研究経費	28,385	18,484	17,720	5,917	8,021
寄附金事業費	16,652	17,217	57,782	28,287	16,367
その他補助金事業費	1,329	124,183	8,768	35,771	35,675
合計	385,675	1,054,966	492,031	587,925	462,109

※人件費(機構本部で管理)を除く



# 教育：養成しようとする人材

- 養成しようとする技術者像
  - 多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法及び情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、ものづくりやシステムづくりに強い実践的な技術者
- 準学士課程において養成しようとする人材
  - 「技術と技能の両面を有する人材」、「企画から設計・生産までの実務に携わる人材」、「自ら課題を発見しその解決に向けて探究する姿勢を持つ人材」
- 専攻科課程で養成しようとする人材
  - 「理論を基礎とした高度な技術と技能を有する人材」、「技術開発から設計・生産までの実務のみならず創造的な仕事ができる人材」、「問題解決型に留まらず課題設定型及び提案型の人材」

平成29年3月に **「三つの方針(ポリシー)」**  
を策定・公表

# ■ ディプロマ・ポリシー(卒業認定方針)

本校では、以下に示す能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

1. 豊かな教養と幅広い視野を備え、地球環境や人類社会における科学・技術の重要性を理解できる。
2. 数学、自然科学の基礎知識、及び応用数学、応用物理、情報処理に関する知識を身につけ、それらを問題解決に応用できる。
3. 得意とする専門分野の知識と技術、及び他の専門分野の基礎知識を身につけ、課題解決に応用できる。
4. 自ら課題を発見して探究する姿勢を持ち、協調性を発揮してチームの一員として仕事に取り組むことができる。
5. 地域の課題に関心を持ち、その解決に貢献しようとする姿勢を持つ。
6. 異文化を理解する姿勢を持ち、討議・発表力と英語基礎力を身につけて研究発表等で活用できる。

# ■ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を育成するため、一般科目の学修と連携しつつ低学年から専門科目を少しずつ配置する「くさび型教育」の特長を活かし、知識と技術を体験的に身につけられるカリキュラムを編成します。学修の成果は、試験や課題レポートなど、各科目のシラバスに記載された評価方法により評価します。具体的なカリキュラム編成方針は以下のとおりです。

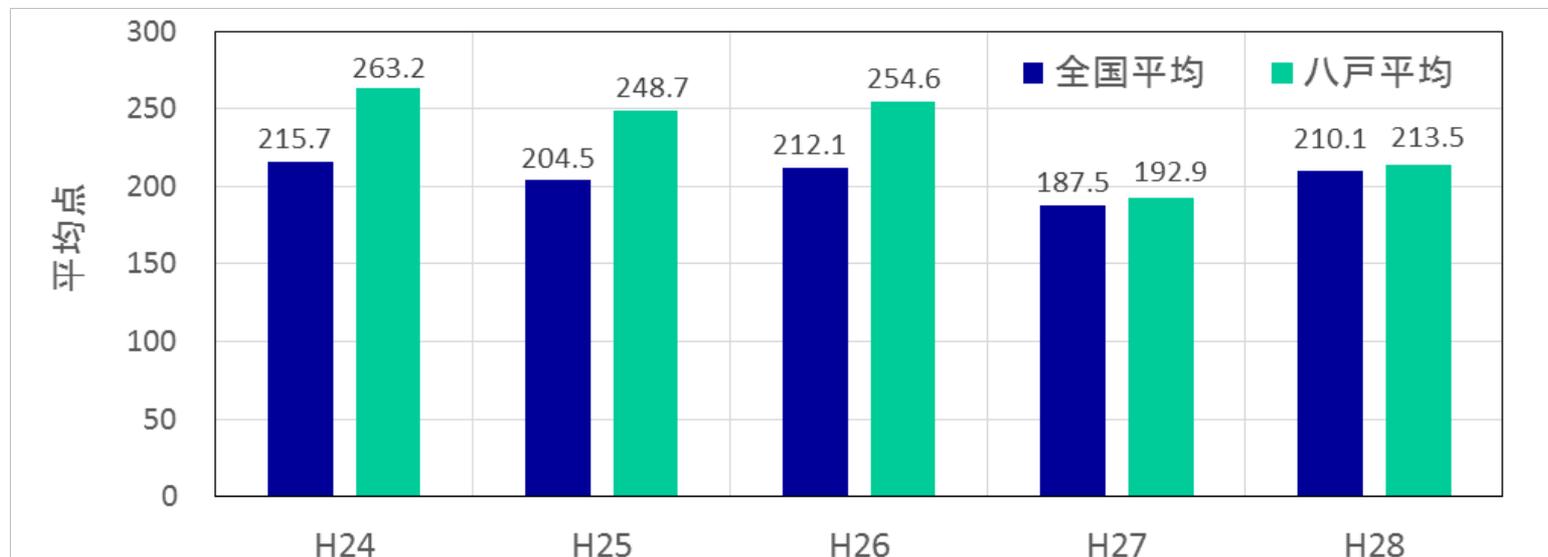
1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。
2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。
3. 得意とする専門分野の知識と技術を身につけるため、専門基礎及び応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。

# ■ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

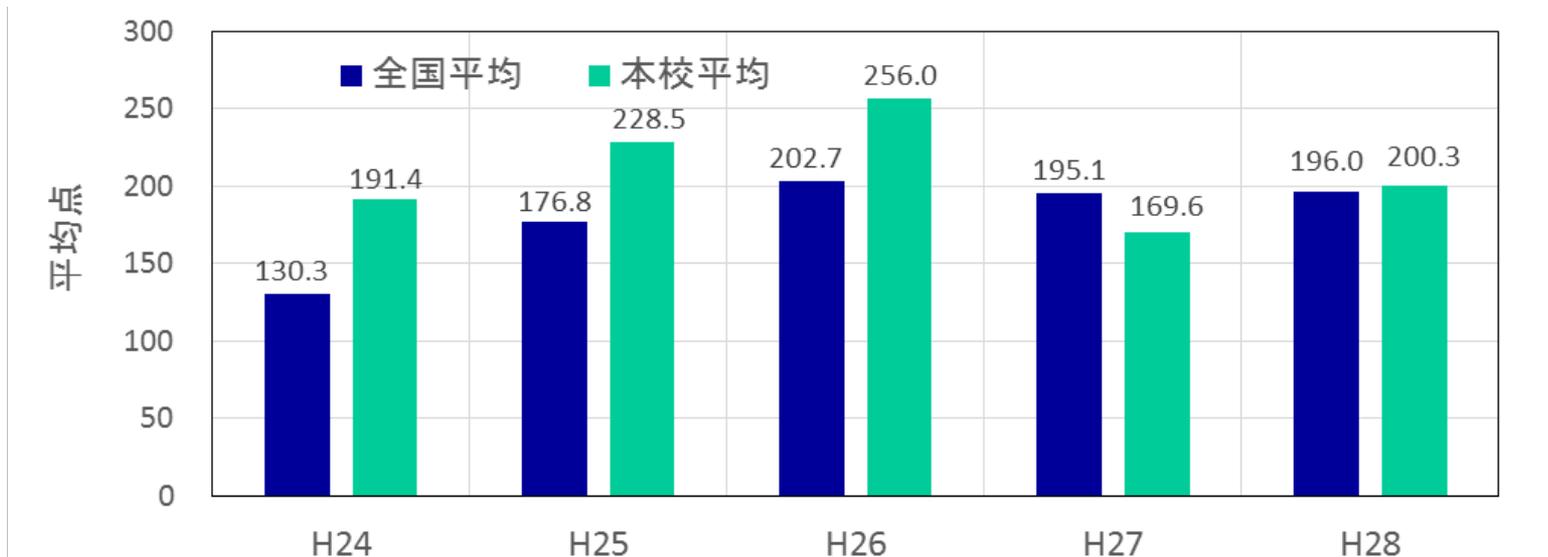
4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。
5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。
6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるために日本語コミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。

# 学生の物理・数学の到達度評価の5年間の推移

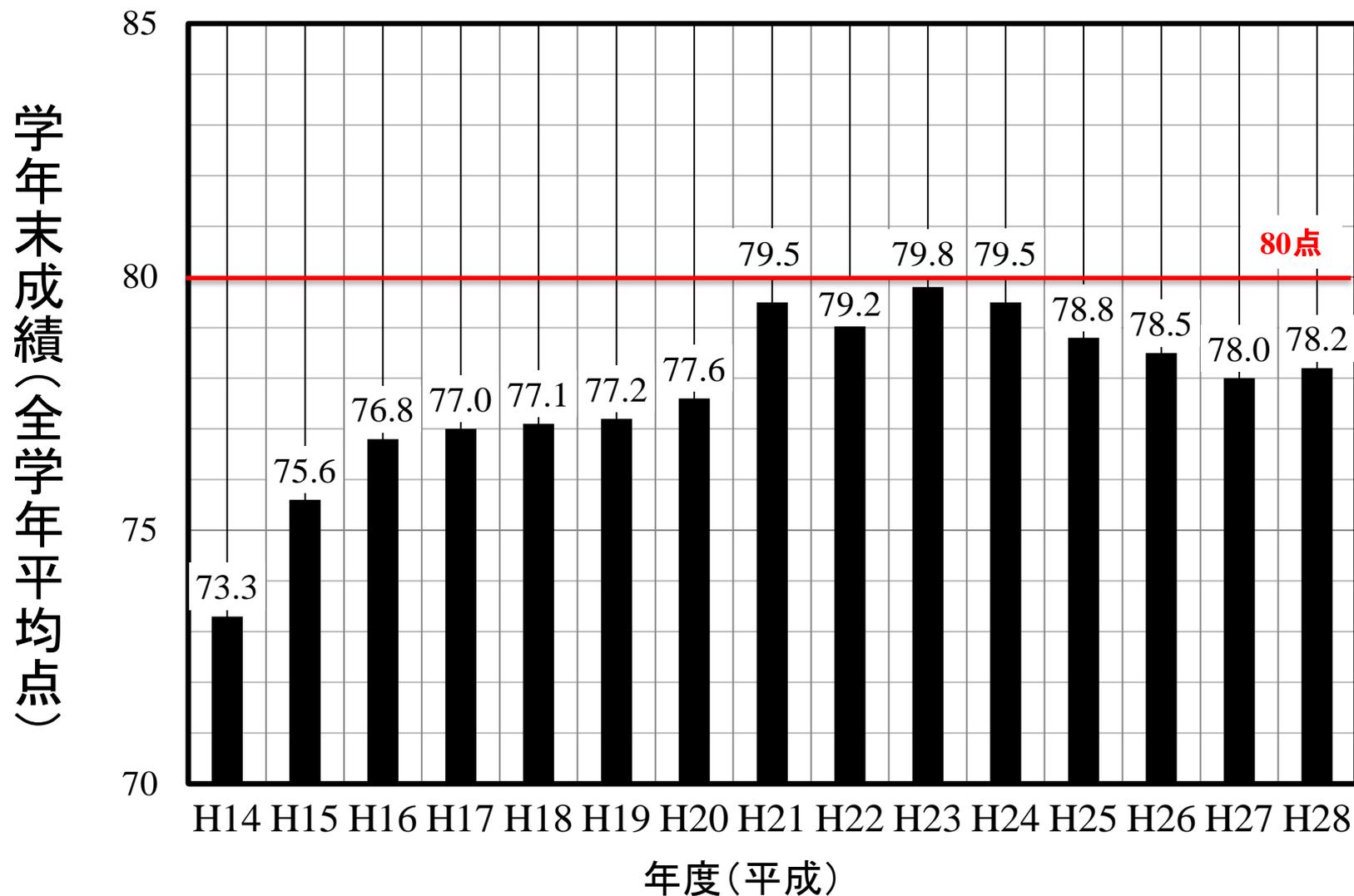
## 数学



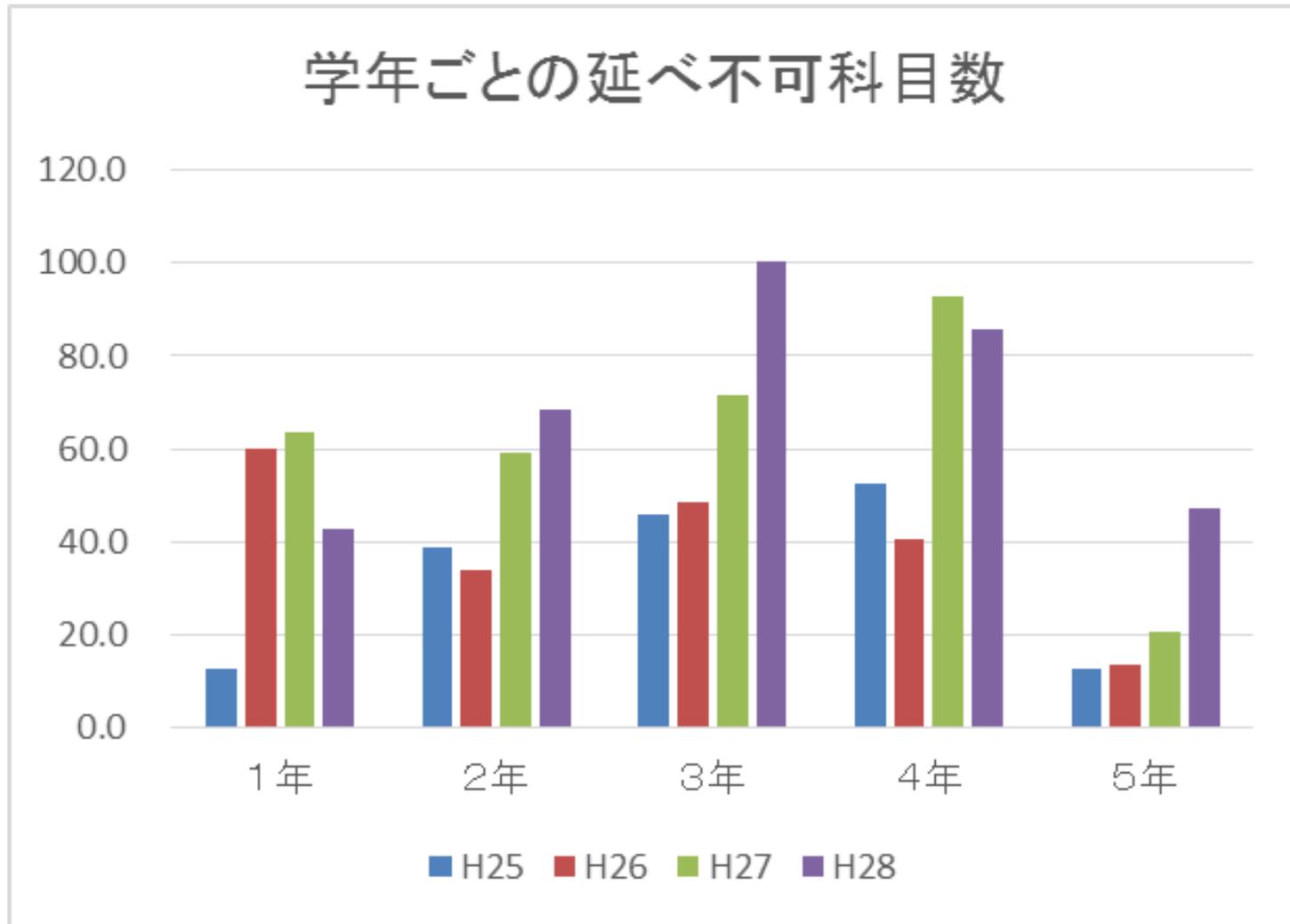
## 物理



# 学年末成績(全学年平均点)



# 学年ごとの不可科目数



# ■ 留年時の履修科目と先行履修制度

目的：留年時の意欲低下を防ぎ、不合格科目の学習に時間を集中できるようにすることで、再度留年（退学）を防ぐ。

H28年度まで

1～3学年 留年 → 全科目再履修

4・5学年 留年 → 未修得科目のみ再履修

H29年度から

全学年 留年 → 未修得科目のみ再履修

低学年で空き時間が発生  
有効に利用してもらう

## 先行履修制度

- ・再履修科目を優先しつつ、空き時間に1学年上位の科目を履修
- ・合格すれば上位学年の単位として認定  
(留年している学年の課程修了単位には含めない)
- ・単独の学期で完了する科目であること、再履修科目を含めて週20時間以内であることなど、いくつかの条件あり。

# 入試：アドミッションポリシー

- **アドミッションポリシー**（三つの方針の一つと位置づけ）
  - AP1：他人への思いやりができ、**責任ある行動**が取れる人
  - AP2：**数学・理科**や**英語**が好きで、**学習意欲**と**知的探究心**のある人
  - AP3：「ものづくり」や「科学・技術」に**興味**がある人
  - AP4：技術を通して社会に貢献する**夢**がある人
  - AP5：他の人々と積極的に**対話**しようとする人
- **アドミッションポリシー実現のために**
  - 英語、数学、理科に**傾斜配点**
  - 推薦選抜は**面接重視**

# 入試制度

## ○準学士課程

- 推薦選抜 定員の50%以内
- 学力選抜 定員の50%程度, H28年度入試からマークシート方式
- 帰国子女特別選抜 (H30年度から開始)

## ○編入学

- 学力選抜(本科4学年に編入、H29年度入試から口頭試問方式)
- 社会人推薦選抜

## ○専攻科

- 推薦選抜: 本校出身者、書類審査で判定
- 学力選抜: 入学確約書期限7/6 ⇨ 12/10(併願可能)

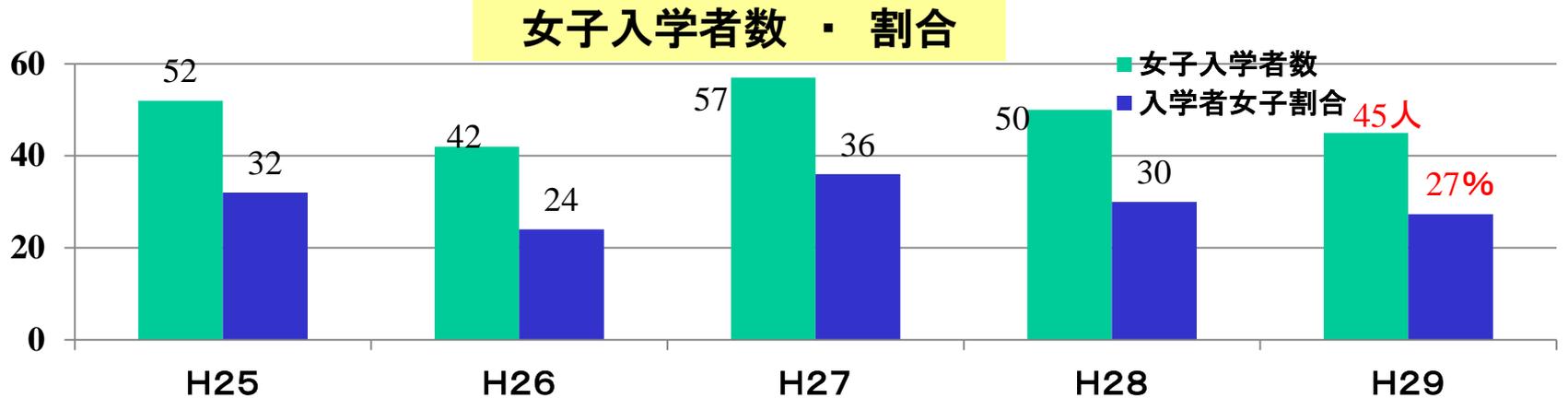
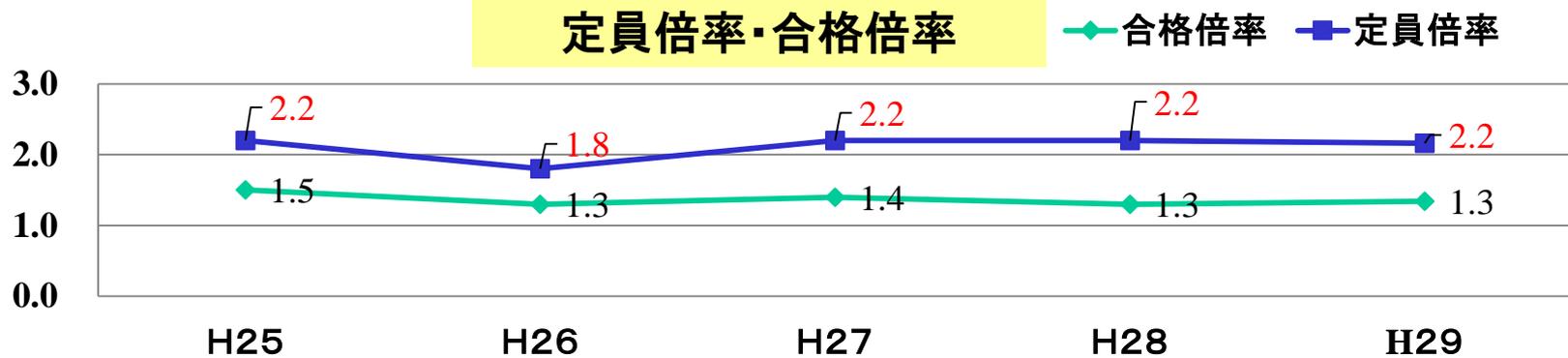
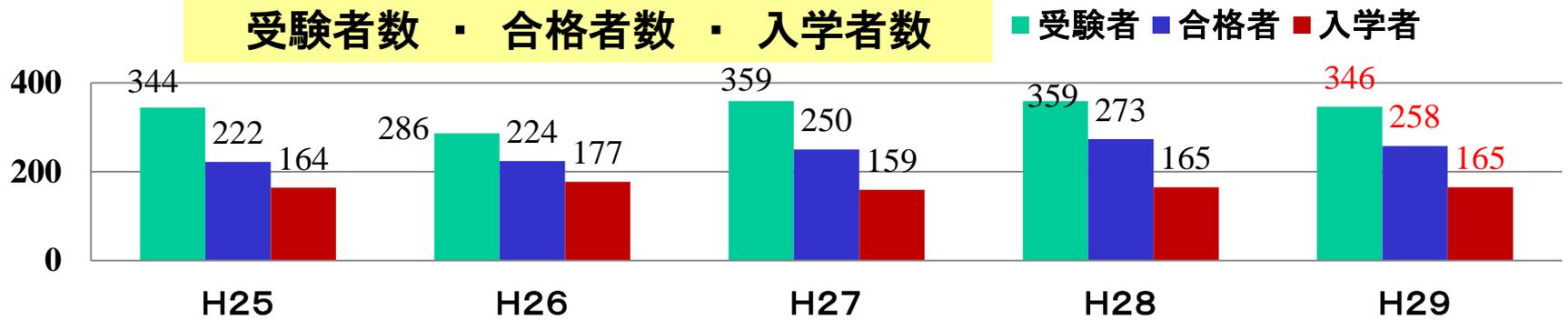
志願者H30=44名(推20、学24) 合格者35名(推20、学15) 入学者未定

志願者H29=46名(推15、学31) 合格者42名(推15、学27) 入学者29名

志願者H28=58名(推19、学39) 合格者49名(推19、学30) 入学者31名

- 社会人特別選抜

# 受験者数、合格者数、入学者数、倍率の5年間の推移

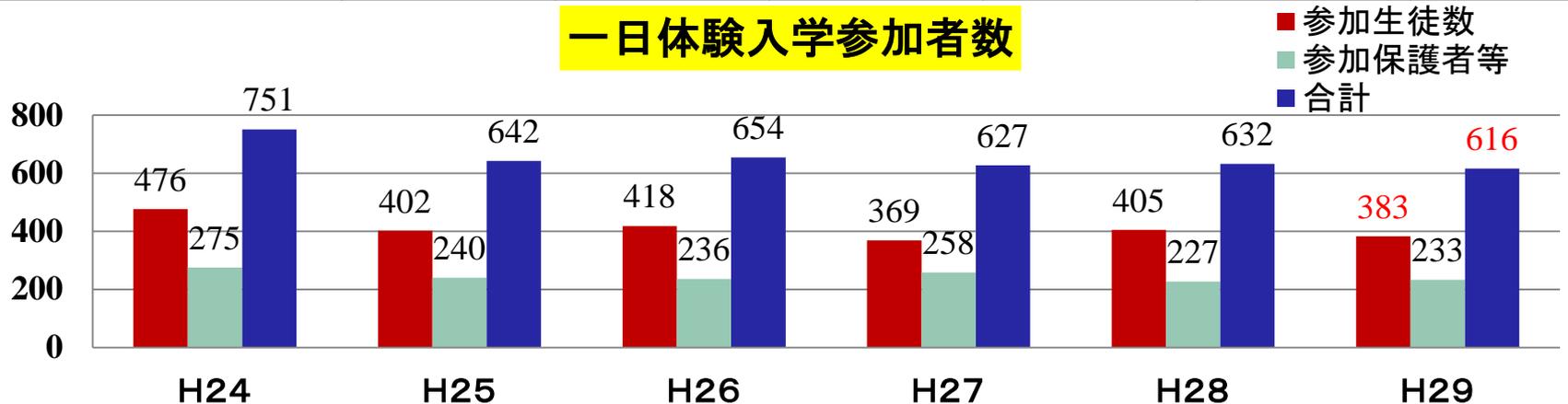


# 中学生の1日体験入学の6年間の推移

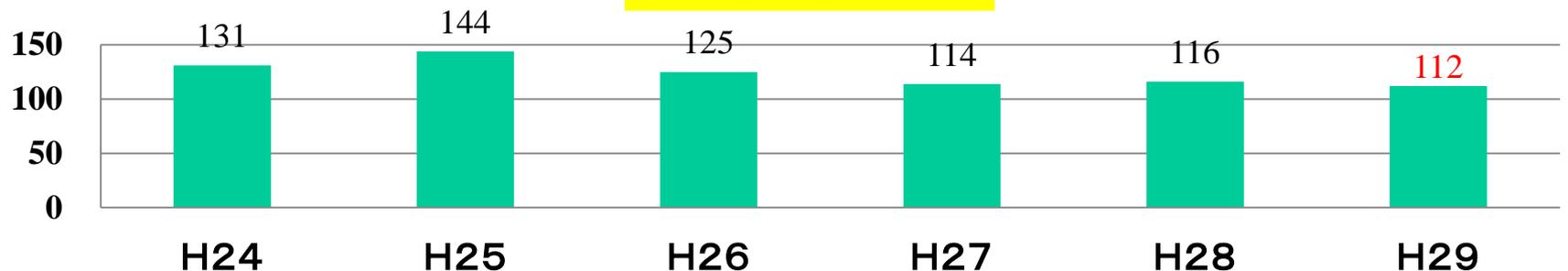
## 中学生の1日体験入学の6年間の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加生徒数	476	402	418	369	405	383
参加保護者等	275	240	236	258	227	233
合計	751	642	654	627	632	616
	H25	H26	H27	H28	H28	H28
参加中学校延べ数	144	125	114	116	116	112

### 一日体験入学参加者数

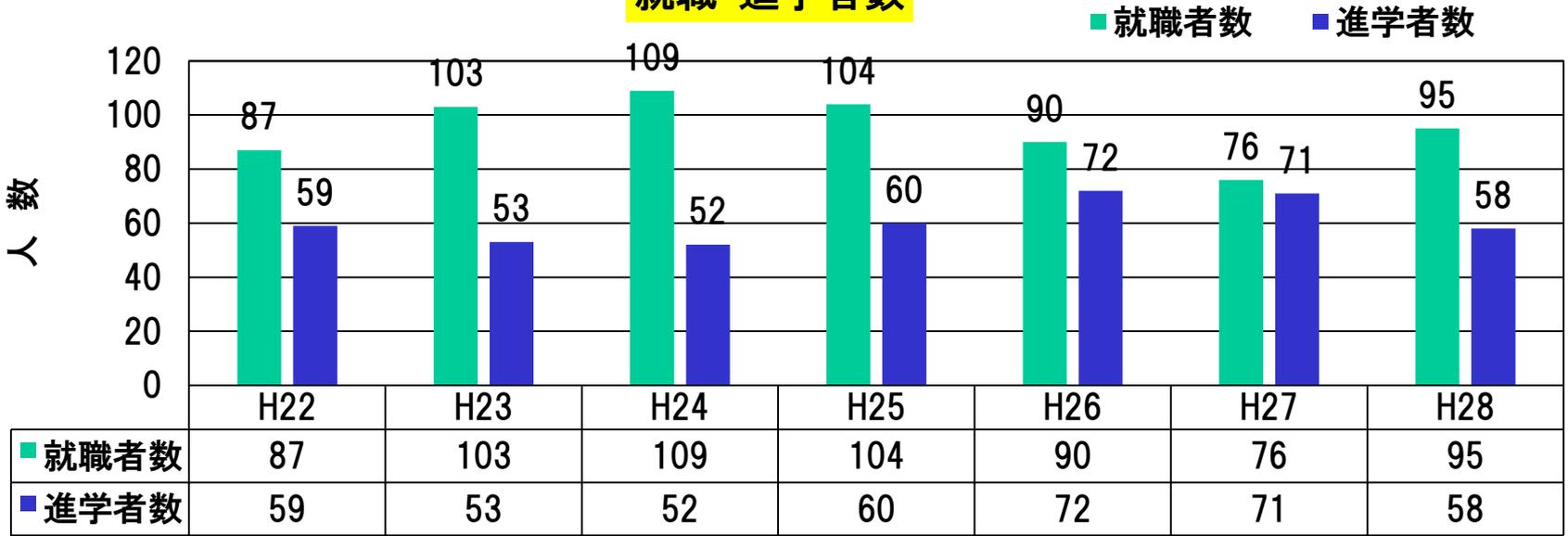


### 参加中学校延べ数

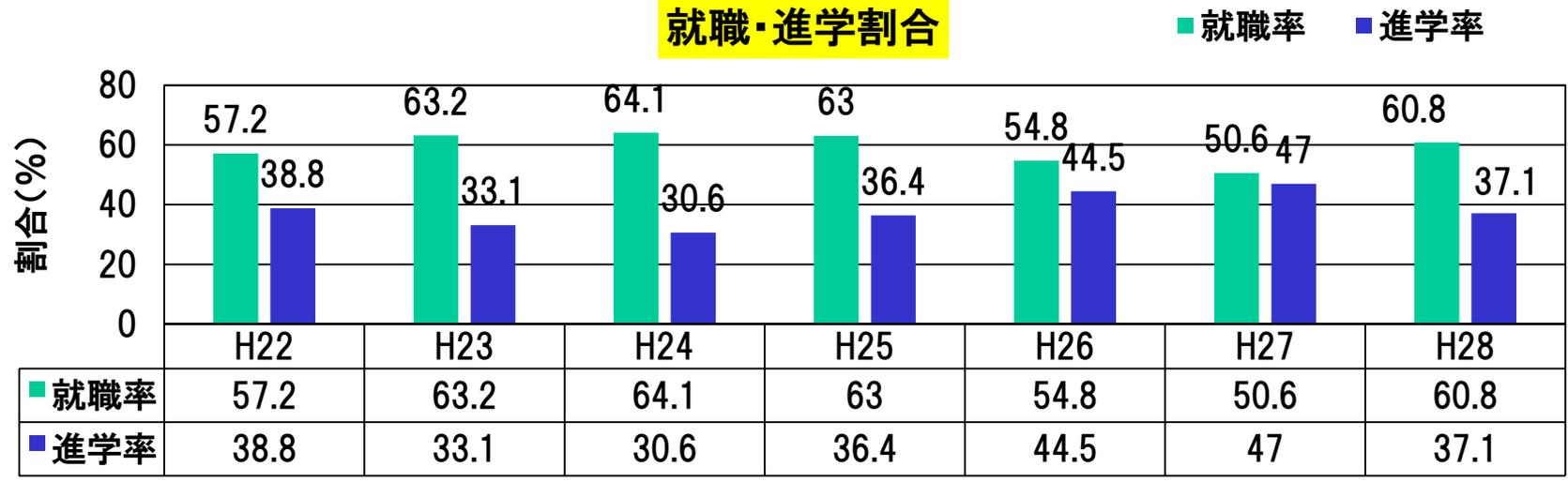


# 学生の就職・進学についての7年間の推移

就職・進学者数



就職・進学割合



# ■ 専攻科から大学院への進学実績

◎平成30年度八戸高専専攻科からの進学先

東北大6名、東工大2名、北大4名

◎昨年度 東北大、東大、東工大など 22名

見込み

大学院名	進学年度					
	H25年度	H26年度	H27年度	28年度	29年度	30年度
北海道大学大学院	1	1	1	1	1	4
東北大学大学院	1	4	4	9	16	6
宇都宮大学大学院					1	
東京農工大学大学院						
東京大学大学院			2		1	
東京工業大学大学院	2	3		4	2	2
山形大学大学院			1			
長岡技術科学大学大学院			1			
大阪大学大学院		1				
九州大学大学院		1				
筑波大学大学院		1		1	1	
合計	4	11	9	15	22	12
修了者数	27	26	18	31	39	31
進学率	14.8%	42.3%	50.0%	48.4%	56.4%	38.7%

# ■ 専攻科入学・大学への編入学(平成30年度) 見込み

## 一国立大学(工学系)進学希望者の進学率100%

平成30年度  
北大 2  
筑波 2  
9大学 4名

進学率 32%  
9大学 合格者  
4名(現役合格  
者専攻科生を  
除くと 16.7%)

大学名等	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
八戸高専・専攻科	18	32	40	31	29	26
北海道大学		1	3	1	1	2
室蘭工業大学			1	3	1	3
弘前大学		2			1	1
岩手大学	3	2	3	7	3	3
東北大学	2	3	3	3		
秋田大学			2		3	
山形大学		1				
宇都宮大学		1	1	1	2	1
茨城大学		1		1	2	
筑波大学		4	1	1		2
千葉大学	4					
東京大					1	
東京農工大学	1	3	1		3	2
東京工業大学		1	2	1	3	
電気通信大学	2	1				
横浜国立大学	1					1
新潟大学	1		2			
長岡技術科学大学	8	6	7	7	1	7
金沢大学				1		
信州大学	1	3		2	2	
豊橋技術科学大学	15	4	3	6	2	1
その他の大学	4	7	2	5	4	1
合計	60	72	71	70	58	50
卒業生数	170	162	170	150	156	156
進学率	35.3%	44.4%	41.8%	46.7%	37.2%	32.1%

※平成30年度 その他 首都大学東京 1名

# 八戸高専キャリア教育(企業内容説明会)

平成23年度より、過去5年間で本校学生の採用実績がある企業、官公庁および本校産業技術振興会会員企業対象で開催



平成24年2月28日	全国64社の会社説明会を開催
平成25年2月27日	全国85社
平成26年2月27日	全国95社
平成27年3月3日	全国119社 (体育館最大限)
平成28年3月2日	全国138社応募 (⇒112社)

平成28年度より産業技術振興会会員企業および官公庁限定で開催



平成29年3月2日 **全国113社**



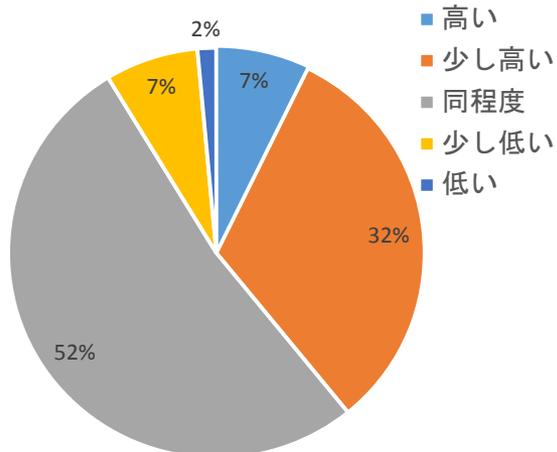
# ■ 卒業生へのアンケート調査（H29.9実施）

卒業後4～6年後の卒業生対象 郵送による依頼：477名

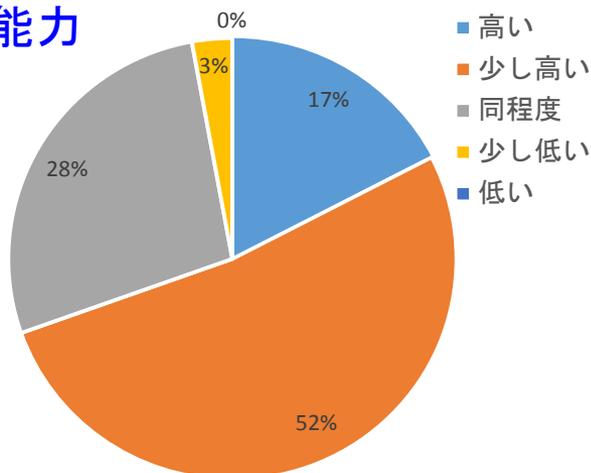
→ 有効回答：68名（FAXまたはWebによる回答）

● 同年代の方と比較してあなたは、

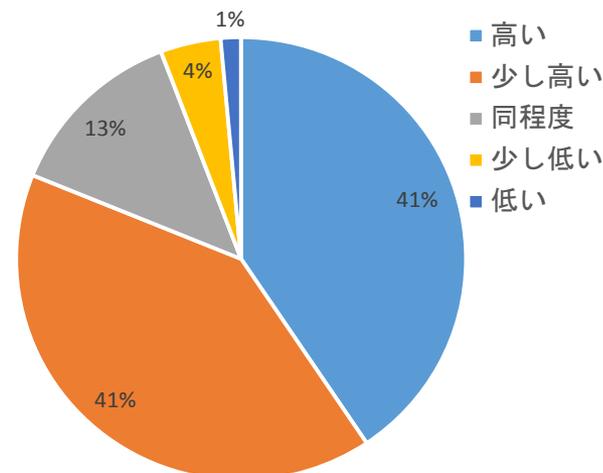
教養や国際社会への関心



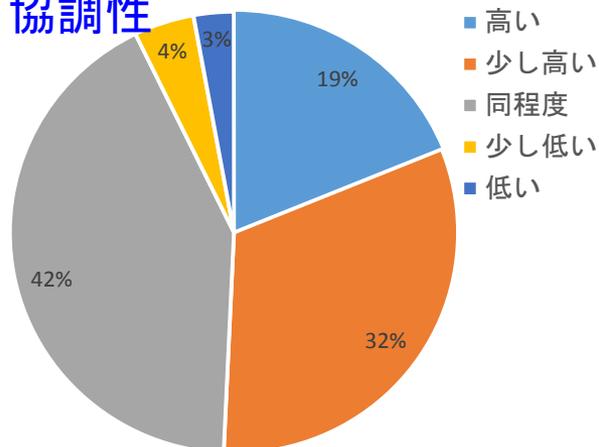
数学・自然科学知識・情報処理能力



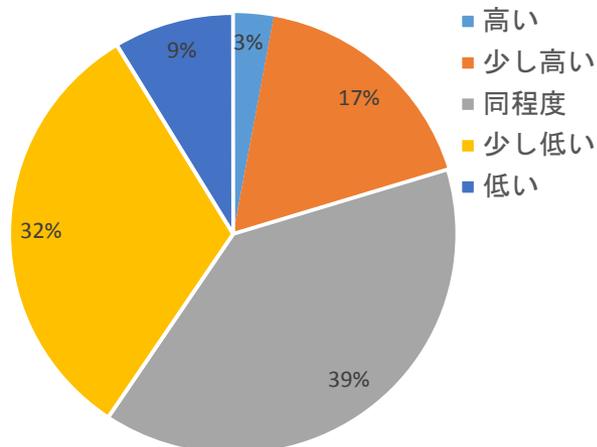
専門的知識・技術力



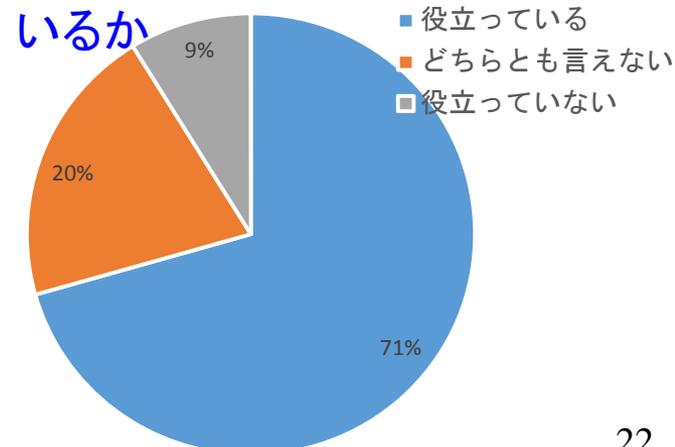
主体的課題発見の姿勢・協調性



コミュニケーション力・英語力



高専の学習が仕事に役立っているか



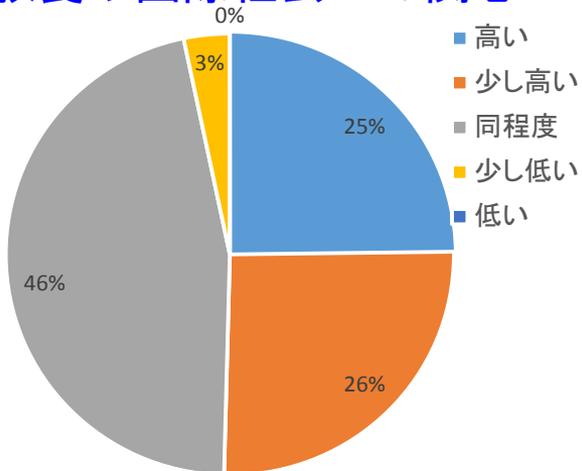
# 進路先企業へのアンケート (H29.9実施)

過去5年の本校卒業生採用企業対象 郵送による依頼: 250社

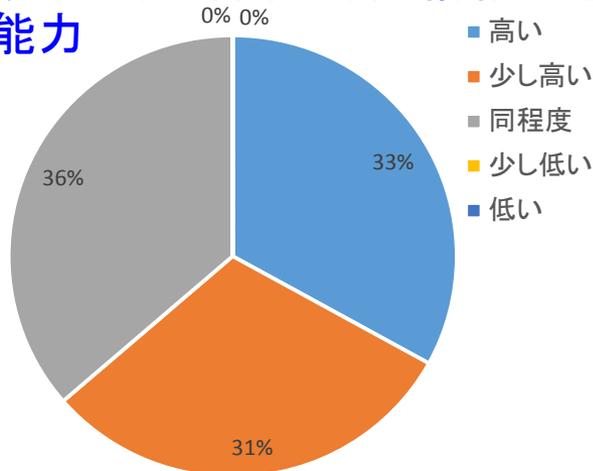
→ 有効回答: 130社 (FAXまたはWebによる回答)

● 同年代の方と比較して本校卒業生は、

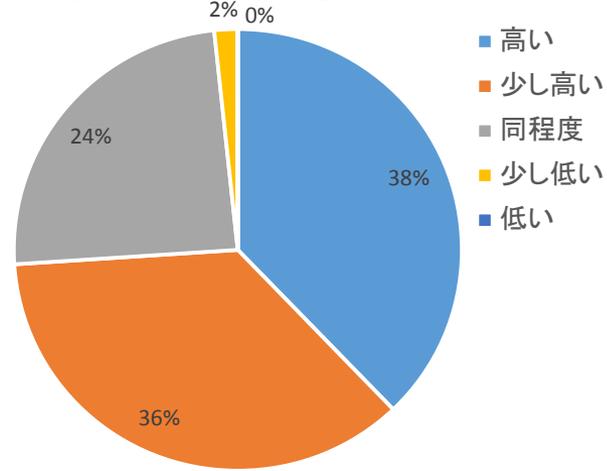
教養や国際社会への関心



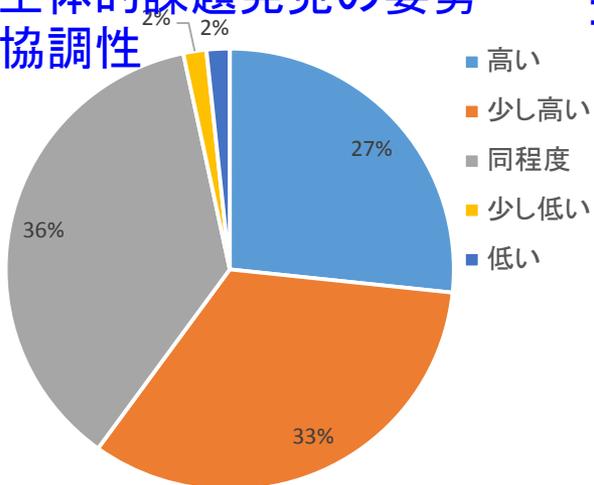
数学・自然科学知識・情報処理能力



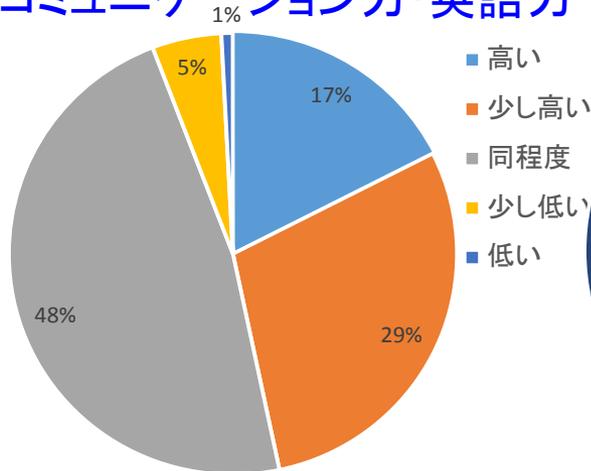
専門的知識・技術力



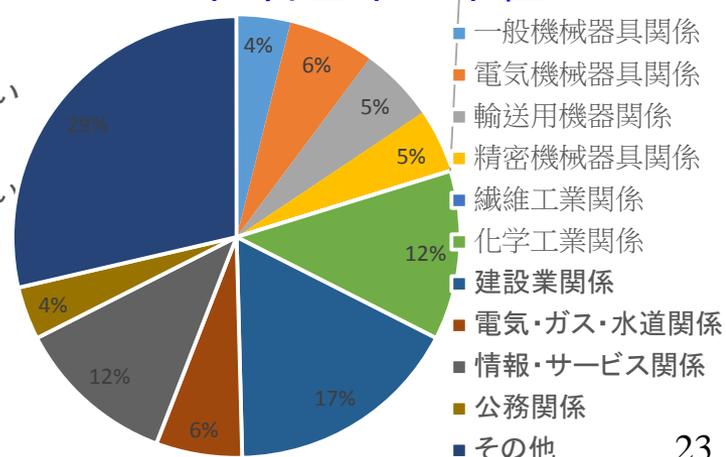
主体的課題発見の姿勢・協調性



コミュニケーション力・英語力



● 回答企業の業種



# 学生支援・生活支援

## H29年度 年間実践目標（学生）

1. わもなも(自分も他者も)お大事に
2. 4学期制、各々が創造的に責任を持って学び考えよう
3. ロボコン(八戸大会)、高専大会を盛り上げよう

## 厚生補導委員会 H29年度 行動計画

1. 学生指導・支援の充実(継続)
2. 学生会活動・課外活動の活性化支援
3. 学生の社会性醸成の支援(継続)
4. 第30回ロボコン東北大会(八戸)開催

# 学生指導・支援の充実

## 奨学金関係

日本学生支援機構、自治体、企業からの奨学金  
八戸高専奨学金

## 就職、進学関係

コース長、担任、進学相談担当

## 講習会、講演会関係

マナー講座（4年生）

交通安全（3年生）

薬物乱用防止（2年生）

性に関する講演会（1年生）

ケータイ安全教室（1年生） 等

# 学校行事の活性化

学生が中心となって  
企画、運営

校内体育大会、球技大会

学生会行事委員会

高専祭

高専祭実行委員会

ハロウィン、クリスマス他

学生会執行部

51th 高専祭  
National Institute of Technology,  
Hachinohe College

意気翔天  
～天まで一気に駆け上がれ!～

10/14(土)  
10/15(日)

※今年度の高専祭花火は諸事情により中止となりました

9:30～開催!

【交通案内】  
・八戸駅・八戸聖ウルスラ学院線(ニュータウン行)高専前下車  
・六日町より高専線(聖ウルスラ学院行)高専前下車

※当日は混雑が予想されるため、車でのご来場はお控えください  
<http://www.kcc.ac.jp>

# 課外活動（運動部）

運動部員数調査(地区大会種目)

平成29年度

正式種目	部員数		部員数の内訳									
	男子	女子	1年		2年		3年		4年		5年	
			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1 陸上競技	27	12	8	1	2	5	4	0	9	2	4	4
2 バスケットボール男子	23	2	9	0	4	0	3	0	1	1	6	1
3 バスケットボール女子	0	12	0	2	0	4	0	3	0	2	0	1
4 バレーボール男子	17	2	3	0	3	0	2	1	4	0	5	1
5 バレーボール女子	0	14	0	2	0	3	0	4	0	4	0	1
6 ソフトテニス	14	3	2	0	1	1	4	0	5	1	2	1
7 卓球	19	5	1	1	2	1	4	2	6	0	6	1
8 柔道	9	1	2	1	1	0	1	0	2	0	3	0
9 剣道	18	12	3	2	3	1	2	4	8	2	2	3
10 硬式野球	43	7	7	1	10	1	7	2	12	3	7	0
11 サッカー	28	3	2	0	0	0	7	2	13	0	6	1
12 ラグビーフットボール	17	2	9	0	0	0	0	0	3	1	5	1
13 ハンドボール	11	3	2	0	1	1	4	0	0	0	4	2
14 テニス	27	8	2	0	9	0	6	4	3	4	7	0
15 バドミントン	24	3	8	0	5	3	6	0	3	0	2	0
16 水泳	12	8	2	0	2	1	2	2	4	1	2	4
合計	289	97	60	10	43	21	52	24	73	21	61	21
%	50	40	50	22	35	45	50	43	56	47	58	42

# 東北地区高専体育大会

(平成29年度より 分散開催)

6月30日(金)～7月2日(日)

A大会:陸上・バレーボール (鶴岡)

B大会:サッカー・バドミントン (秋田)

C大会:ソフトテニス・柔道 (一関)

D大会:卓球 (八戸)

E大会:硬式野球・ハンドボール (仙台広瀬)

F大会:水泳・バスケットボール (福島)

G大会:テニス・剣道 (仙台名取)

10月20日(金)～24日(火)

ラグビーフットボール (八戸)

# 課外活動等 平成29年度 結果

## ・高専体育大会

東北地区(団体競技):

男子バレーボール、卓球、女子バスケットボール 優勝  
柔道 準優勝 (→全国大会進出)

全国:卓球(団体) 第3位、柔道(女子個人) 第3位

## ・平成29年度秋期青森県高等学校野球選手権大会

第4位(準決勝進出) →※青森県21世紀枠推薦

## ・全国高専ロボットコンテスト2017東北地区大会

Aチーム(斑鳩):技術賞・特別賞受賞

## ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ2017 第37回全国大会

クラス グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校生クラス)

BG号 1619.300km/L 第5位/74台・・・高専チーム中 第2位

NP号Ⅳ 1459.706km/L 第6位/74台・・・高専チーム中 第3位

## ・文化部

第24回東北地区高等専門学校文化部発表会 写真部門 特選

等

# 課外活動支援の課題

(部活顧問の労務負担は高専でも大きな課題)

## ◎日曜日のクラブ等課外活動の制限

- ①日曜日は大会への出場を除き、クラブ等課外活動を原則禁止とする。
- ②学生は、日曜日にクラブ等課外活動を行う場合は「許可願」を提出して許可を得ること。
- ③「許可願」の備考欄へは大会への出場を除き、「代休日（原則土曜日または休日）」を必ず記入すること。

◎外部コーチ(21名)のほか、引率も可能な外部臨時指導教員(非常勤教員 11名)を配置。

⇒顧問教員の負担軽減に役立っている。

# 4 学期制への対応

(1)クラブの夏季合宿:8/4(金)~8/9(水)

8/17(木)~ 8/25(金)

- 学寮使用、食事(3食)支給。
- 宿直は外部委託。
- 合宿費用 実費  
(寮使用料、宿直・ボイラー人件費、給食費等)

(2)秋学期における部活動時間は、15:00以降。

(3)高専祭:10/14(土), 15(日)

- 夏学期までに露店募集等必要な事項を行い、秋学期に計画通りに準備を進めた。

# 学生指導（懲戒処分）

## H28年度

- 到達度試験不正行為（停学14日）
- 飲酒（高学年4名、校長訓告）
- 喫煙（高学年、校長訓告）
- 自転車無断使用（停学14日）
- SNSでの個人中傷（停学7日）
- 窃盗（無期停学）

## H29年度（～12月）

- 飲酒（高学年、校長訓告）
- 遺失物の横領および隠滅（無期停学）

# 学生特別指導（学生主事訓告以上）

学生特別指導(学生主事訓告以上)

件数(延べ人数) 主な件名

	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科	総件数	総延べ人数
H28	2(2) 窃盗、SNSでの迷惑行為	1(1) 自転車無断使用		3(7) 飲酒、喫煙 異性入寮	1(1) 試験不正行為		7	11
H27	1(3) SNSへの猥褻 動画投稿・迷惑行為	4(3) 試験不正行為 SNSへの虚偽記載 いじめ	1(1) 暴力行為			1(1) 住居侵入・窃盗	7	6
H26	1(2) 飲酒	2(4) 暴力行為 飲酒		1(1) 飲酒	1(5) 飲酒	1(1) 窃盗	5	13
H25	1(3) 暴力行為		3(3) 喫煙 威圧行為	1(3) 喫煙	2(9) 寮内飲酒		7	18
H24	2(9) 暴力行為 試験不正行為	1(1) 暴力行為	1(1) 無断入寮	3(4) 喫煙、交通違反 試験不正行為	3(3) わいせつ行為 寮女子立ち入らせ		9	18
H23		3(9) 飲酒 深夜徘徊	2(2) 万引き 喫煙	5(6) 万引き 喫煙			10	17

# 【学寮】 概要および入寮状況

## ◎高専の学寮＝“教育寮”

“共同生活から人間形成の助長をはかる”

## ◎遠方等通学が困難な学生のための学寮

平成29年度から全寮制を廃止

## ◎寮費等

月額約3万円（寄宿料：700円/月、学寮運営費：約84,000円/年、  
学寮給食費：約264,000円/年）

## ◎寮生の入寮状況（平成29年11月13日現在）

○定員433名 入寮者381名（男子287名、女子94名）

# 【学寮】 行動計画

## 寮生会活動、施設・住環境の改善

### ◎平成29年度寮務委員会行動計画

1. 寮生会活動の活性化
2. 施設・住環境の改善
3. 運営・管理業務の見直し

### ○寮生会活動

#### (1) 寮生会執行部

- ・ 男子寮への**冷蔵庫**の設置、管理

#### (2) 文化委員会

- ・ 新聞購読数の見直しを行い、購読数を削減

#### (3) 防犯・防災委員会

- ・ **防災訓練**を見直し、避難場所を本来の避難場所であるグラウンドに変更
- ・ 防災訓練マニュアルの見直し

### ○施設・住環境

- ・ 補食室への**電気ケトル**の設置
- ・ N棟の断熱工事（2年計画）終了
- ・ 所有者不明の自転車の廃棄
- ・ 1年生入寮者への個人用小型ロッカー（貴重品入れ）の貸与
- ・ 月1回の清掃業者による水回りおよび共通区域の清掃

# 【学寮】運営・管理業務の変更

## (1) N棟の女子棟化

- 女子寮生の入寮希望者が多いことから、N棟を男子寮から女子寮に変更
- 玄関のカードキー化などセキュリティー関係を強化

## (2) 宿日直体制

- 教員の業務負担の軽減のため、教員1名、外部委託の担当者1名の2名体制へ

## (3) 休前日の外泊申請の変更

- 在寮・外泊申請名簿に寮生が自分で記入、そのコピーを点呼名簿に挿入することで、寮事務および教員の昼指導の負担軽減

## (4) 指導寮生の仕事内容の変更

- フロア共通区域の清掃チェックと再清掃の指示
- 在寮・外泊申請名簿（休前日用）の提出（毎週木曜日）
- 補食室と談話室の鍵の管理をし、毎日の返却は不要。

## (5) 給食時の本人確認

- 寮外生、欠食届の提出者の不正飲食の防止のため、給食時に学生証を持参し、バーコード読み取りによる本人確認の実施。

## (6) 寮生への連絡

- 重要な連絡には、学寮内の掲示板およびBlackboardを掲示板として利用。
- Office365に登録されている学生のメールアドレスへの一斉配信により、連絡が容易になった。

# 【学寮】 寺子屋、秋学期への対応 今後の整備計画

## ○寺子屋の再開

- 今年度、学寮寺子屋を再開、再構築し、寮生どうしの教え合いの場を設けた。
- 定期試験前に寺子屋を計5回開催し、初回約80名、その後50名程度が集まり、互いに教え合っていた。

## ○秋学期の学寮日課等の変更

- 日課は通常学期とほぼ同じ。
- 女子・低学年フロアの平日の点呼は21:30で、朝点呼はない。
- 男子の入浴は、大浴場のみとする。小浴場は使用しない。
- フロ清掃当番は、部屋単位ではなくフロア単位で割り振る。
- 女子・低学年フロアのフロア集会は、2週に1回程度行う。

## ◎今後の整備計画（予算が限られているため可能なものから実施）

- 老朽化した机、椅子、ロッカー、本棚等の補充
- A, W棟の洗濯機・乾燥機の増設（洗濯室の増設）
- N棟へシャワー室の設置
- 照明器具の更新・LED化（未整備部分）
- 廊下への防犯カメラ設置（未整備棟）
- 全棟玄関への学生証認証によるオートロックシステムの導入
- 男子用シャワー設備の設置

# 図書館外観と内部



出入口

## 図書館の概要

開館時間: 平日 8:45~20:00

土曜日 10:00~17:00

蔵書数: 70,350冊(和62,856冊、洋7,494冊)

雑誌: 66種(和59種、洋7種)

H28年度受入冊数: 420冊(和399冊、洋21冊)

H28年度利用状況: 75,712人(学生74,913人)

H28年度貸出状況: 6,599冊



# 図書館内

資格本・教科書コーナー



開放的な個人用スペース



カウンター



# 図書館内／総合情報センター（パソコン室）

パソコンコーナー・交流室



第1パソコン室

（H28年度システム更新）



電動集密書庫



第2パソコン室

（H28年度システム更新）



# 図書館行事

学生によるブックハンティング



学生会図書委員によるNews Letter発行

校内「ビブリオバトル大会」(予定)



# 「教育環境の整備、情報セキュリティ等」

役職・組織名		役職・組織名	氏名
情報セキュリティ管理委員会	情報セキュリティ責任者	校長	圓山 重直
	情報セキュリティ副責任者	企画担当副校長	赤垣 友治
		事務部長	笹垣 義美
	情報セキュリティ管理者	副校長(教務主事)	武尾 文雄
		副校長(学生主事)	河村 信治
		副校長(寮務主事)	中村 重人
		副校長(専攻科長)	南 將人
		副校長(地域テクノセンター長)	松本 克才
		総合科学教育科長	菊地 康昭
		機械システムデザインコース長	沢村 利洋
		電気情報工学コース長	釜谷 博行
		マテリアル・バイオ工学コース長	長谷川 章
		環境都市・建築デザインコース長	藤原 広和
		総務課長	深田 浩一
		学生課長	宇野 裕之
情報セキュリティ推進責任者	副校長(総合情報センター長)	工藤 憲昌	
管理運営部署	総務課課長補佐	鳥谷部 容市	
	総務課		

# 「教育環境の整備、情報セキュリティ等」

情報セキュリティ推進委員	情報セキュリティ推進責任者	総合情報センター長
	情報セキュリティ推進員	副センター長・ネットワーク管理室長
		情報処理教育室長
		情報課推進室長
	情報セキュリティ推進員 (その他、情報セキュリティ責任者が必要と認める者)	技術職員(ネットワーク管理室)
		総合科学教育科担当者
		機械システムデザインコース担当者
		電気情報工学コース担当者
		マテリアル・バイオ工学コース担当者
		環境都市・建築デザインコース担当者
総務課総務グループ担当者		
総務課財務グループ担当者		
学生課担当者		
事務担当	総務課学術情報係	

# 「教育環境の整備、情報セキュリティ等」

- 情報セキュリティ体制の整備及び強化
  - 01\_情報セキュリティ関連の管理体制名簿作成
  - 02\_ソフトウェア管理体制名簿作成
  - 03\_危機管理体制の整備  
(情報漏洩・不正アクセス等に係る管理体制)
  - 04\_情報セキュリティ関連規程の整備
    - 情報セキュリティ管理規程
    - 情報セキュリティ推進規程
    - 情報セキュリティ教職員規程
    - 情報セキュリティ利用者規程
  - 05\_対応手順の周知徹底、点検等
  - 06\_情報セキュリティ教育

# 平成29年度の主な活動内容

## 1. 図書館関係

### (1) 学術情報のオープンアクセス化の推進

教育・研究の成果を公表する定期刊行物(研究紀要)の  
J-STAGEによるインターネット公開

### (2) 地域貢献

八戸ブックセンターとの連携:教員の推薦図書を紹介  
する「ひと棚選書」企画への協力

## 2. 総合情報センター関係

### (1) 校内LANの更新

配線工事は平成28年度～平成29年8月にかけて実施  
・光ファイバの再敷設 ・メタルケーブルのCAT6化

### (2) 校内無線LAN環境の整備

アクセスポイントの増設 合計:70台

### (3) 八戸高专情報戦略推進本部体制を構築

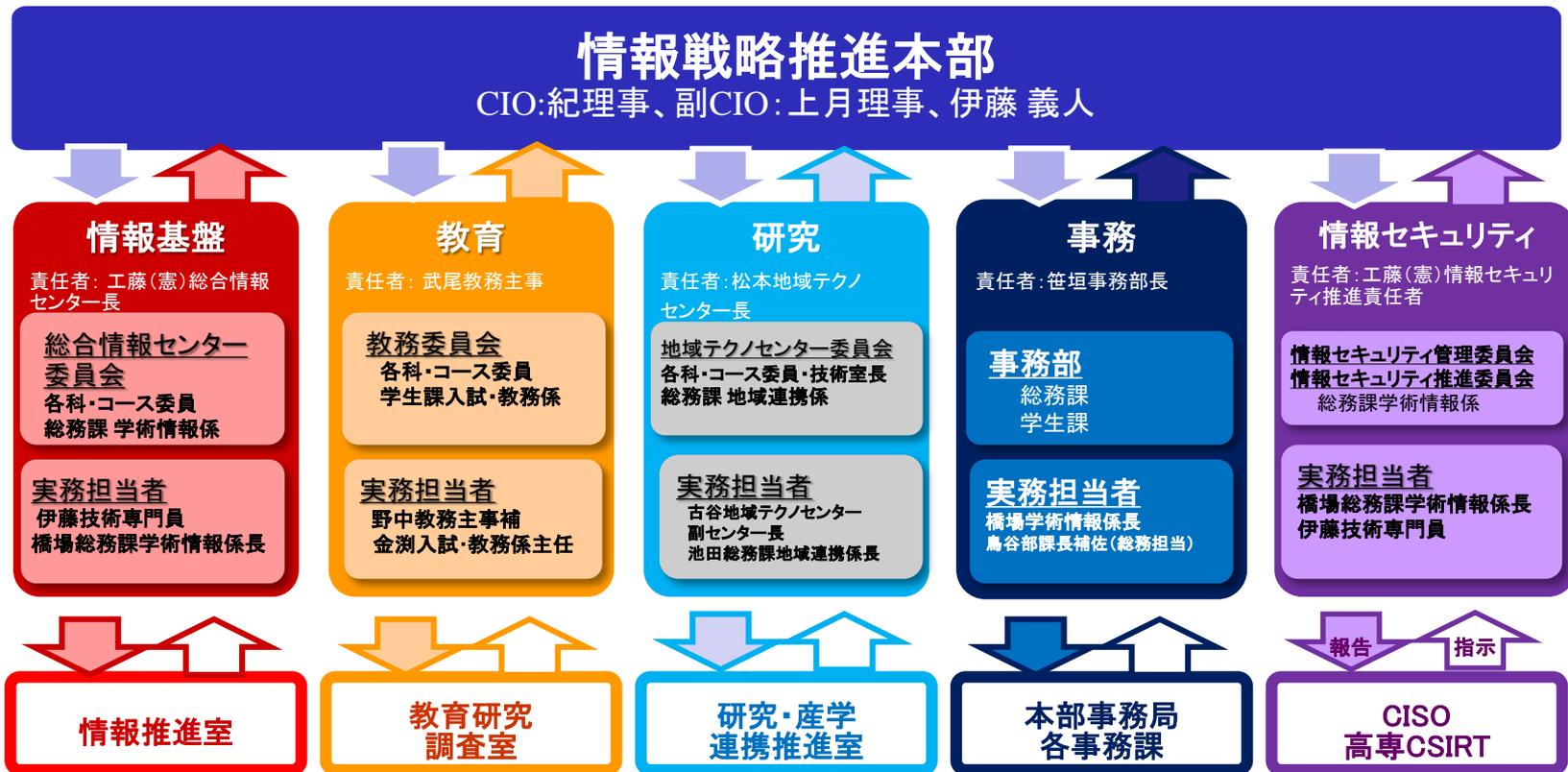
# 「教育環境の整備、情報セキュリティ等」

## 高専の情報戦略推進本部体制

情報戦略  
推進本部

八戸高専

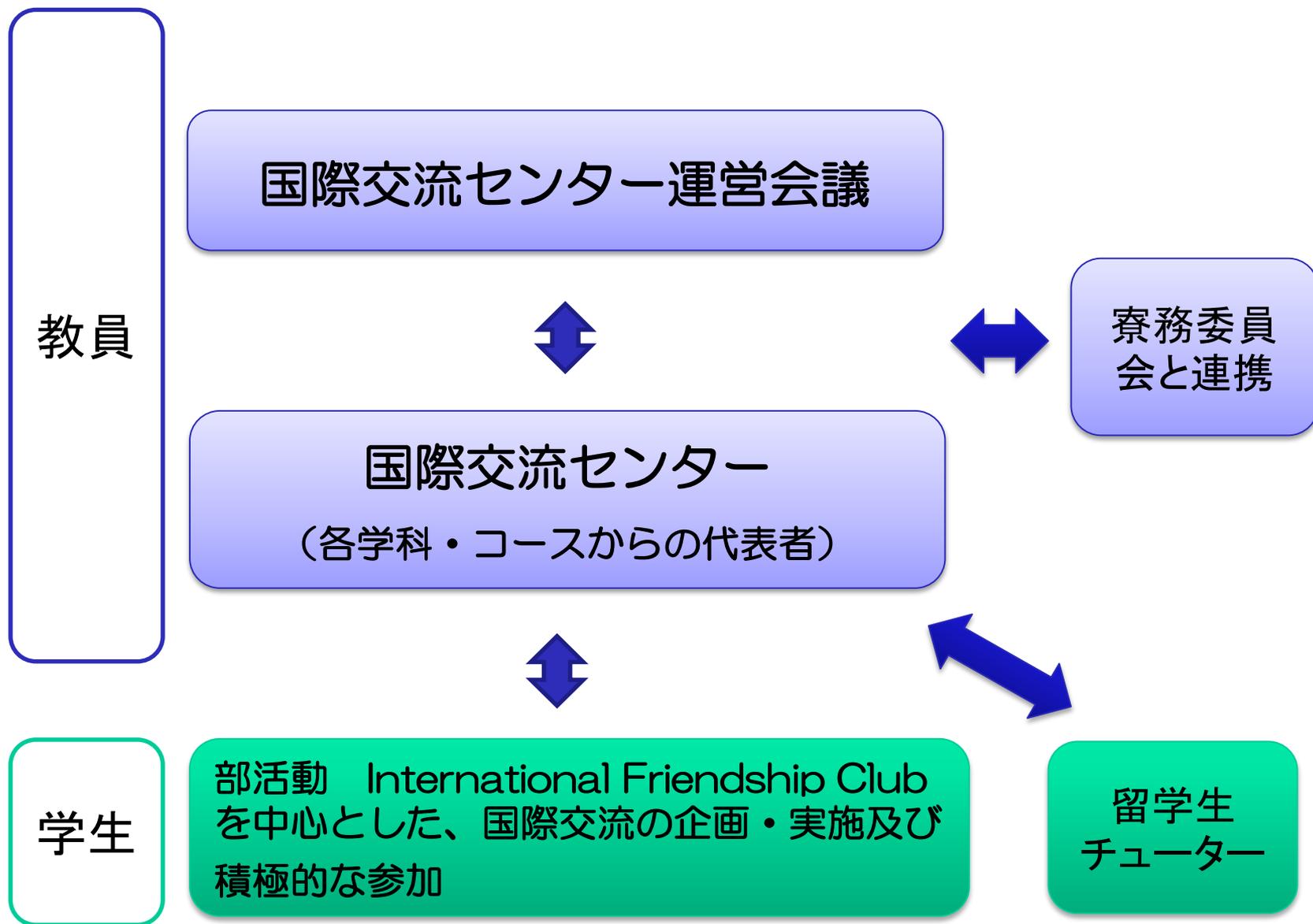
機構本部



# 平成29年度 国際交流活動

1. 国際交流活動の体制
2. 国費留学生・マレーシア政府派遣留学生・モンゴル政府派遣留学生の受入
3. 平成29年度 外国人学生の短期受入・日本人学生の海外派遣
4. 平成29年度 国際交流の採択プロジェクト
5. グローバル高専事業

# 1. 国際交流活動の体制



## 2. 国費留学生・マレーシア政府派遣留学生の受入

### 【受入実績】

( )は女子内数を示す

	国費留学生数 ※国籍は下表	マレーシア政府 派遣留学生数	モンゴル政府 派遣留学生	計
平成 4～27年度 受入総数	34 (10)	30 (10)		63 (20)
平成29年度 新編入生受入数	1 ( 0)	2 ( 2)	1 ( 0)	4 ( 2)
合計	35 (10)	32 (12)	1 ( 0)	67 (22)

### 【在籍状況(平成28年度 長期留学生数)】

( )は女子内数を示す

	マレーシア	インドネシア	ラオス	スリランカ	モンゴル	計
3年生	2(2)		1(0)			3(2)
4年生	3(3)		1(0)			4(4)
5年生	3(1)	1(1)		1(1)	1(0)	6(3)
計	8(6)	1(1)	2(0)	1(1)	1(0)	13(9)

\*フォローアップ事業として、同窓会の組織、里帰り講演会、交流会などの実施

### 3. 平成29年度 外国人学生の短期受入・学生派遣

#### 【外国人学生の短期受入】

	日程	国名(受け入れ校)	受入数
1	H29年4月～6月	フランス共和国 (リールA技術短期大学 他)	4
	H29年11月～H30年 1月	同上	1
2	H30年3月	マレーシア(INTEC)〔予定〕	10
		合計	15

#### 【日本人学生〔本科生〕の海外派遣】

	日程	国名(派遣校)	派遣数
1	H29年8月	アメリカ(ウェナッチ大学) 「三沢市ウェナッチバレーカレッジ夏休み英語研修」	2
2	H29年8月-9月	モンゴル(新モンゴル高専他)「自主探究学習 in モンゴル」	12
3	H29年8月-9月	ニュージーランド(オタゴ・ポリテクニク) 「平成29年度オタゴ・ポリテクニク就業経験プログラム」	2
4	H29年8月-9月	中国「大連短期留学プログラムー2017 夏」	2
5	H29年9月	シンガポール共和国(テマセク・ポリテクニク)	30
		合計	48

## 【日本人学生〔専攻科生〕の海外派遣】

	日時	国名(海外の教育機関)	派遣数
1	H29年8月	フィンランド (ISTS2017)	2
2	H29年8月-11月	フィンランド (トゥルク応用科学大学)	1
3	H29年9月-11月	フランス共和国 (リールA技術短期大学 他)	9
4	H29年9月	シンガポール共和国 (リパブリック・ポリテクニク)「平成29年度ファシリテーションスキル&インターンシップ経験英語研修」	1
5	H29年9月-11月 H29年11月-3月	ニュージーランド(オタゴ・ポリテクニク) オーストラリア(オーストラリア国立大学) →3名中1名	3
6	H29年10月	中国(大連交通大学他)	3
7	H30年1月-3月	フランス共和国 (リールA技術短期大学 他)	2
		合計	21

# 海外自主探究の事例（モンゴル）



日本人学生(黒板側)とモンゴル人学生(手前)との相談会



モンゴル国立大学留学中の日本人研究者  
(東邦大学 加藤先生)のサポート



モンゴル人教員（国際交流担当ティムレーイ先生）のサポート



チーズ保湿用プログラム作成

## 4. 平成29年度 国際交流の採択プロジェクト

	交流国	プログラム名	受・派	備考(1名)
1	シンガポール共和国	青森県高校生国際交流促進事業費 補助金(短期派遣)「テマセク・ポリテクニク研修」	派遣	補助金 60,000円
2	モンゴル	青森県高校生国際交流促進事業費 補助金(短期派遣)「モンゴル自主探究」	派遣	補助金 60,000円
3	シンガポール共和国	JASSO海外留学支援制度(協定派遣) 「次世代グローバル・エンジニア育成プログラムin高専教育ーグローバル・コンピテンシーの涵養ー」	派遣	奨学金 100,000円
4	ニュージーランド	JASSO海外留学支援制度(協定派遣) 「ウディブリッジの耐力コンテストを通じた技術教育研修ーニュージーランドへの派遣ー」	派遣	奨学金 70,000円 (月額)
5	マレーシア	JASSO海外留学支援制度(協定受入) 「日本留学予定者の、予備学習とギャップの克服」	受入	奨学金 80,000円
6	フランス共和国	JASSO海外留学支援制度(協定受入) 「学寮を活用した英語による技術教育研修ーフランス技術短期大学(IUT)と東北地区6高専及び函館高専との相互交流(受入)」	受入	奨学金 80,000円 (月額)
7	フランス共和国	JASSO海外留学支援制度(協定受入) 「学寮を活用した英語による技術教育研修ーフランス技術短期大学(IUT)と東北地区6高専及び函館高専との相互交流(受入)」	派遣	奨学金 80,000円 (月額)

## 5. グローバル高専事業

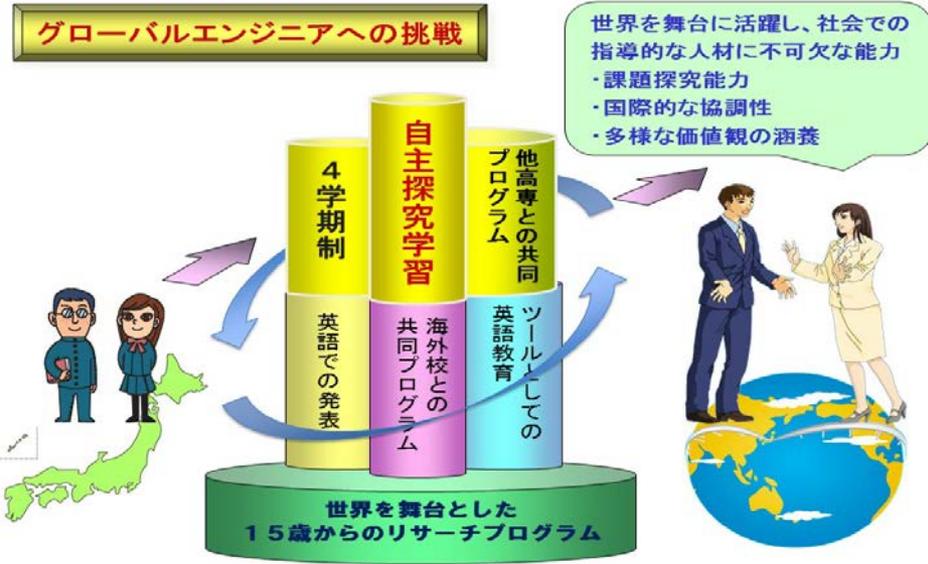
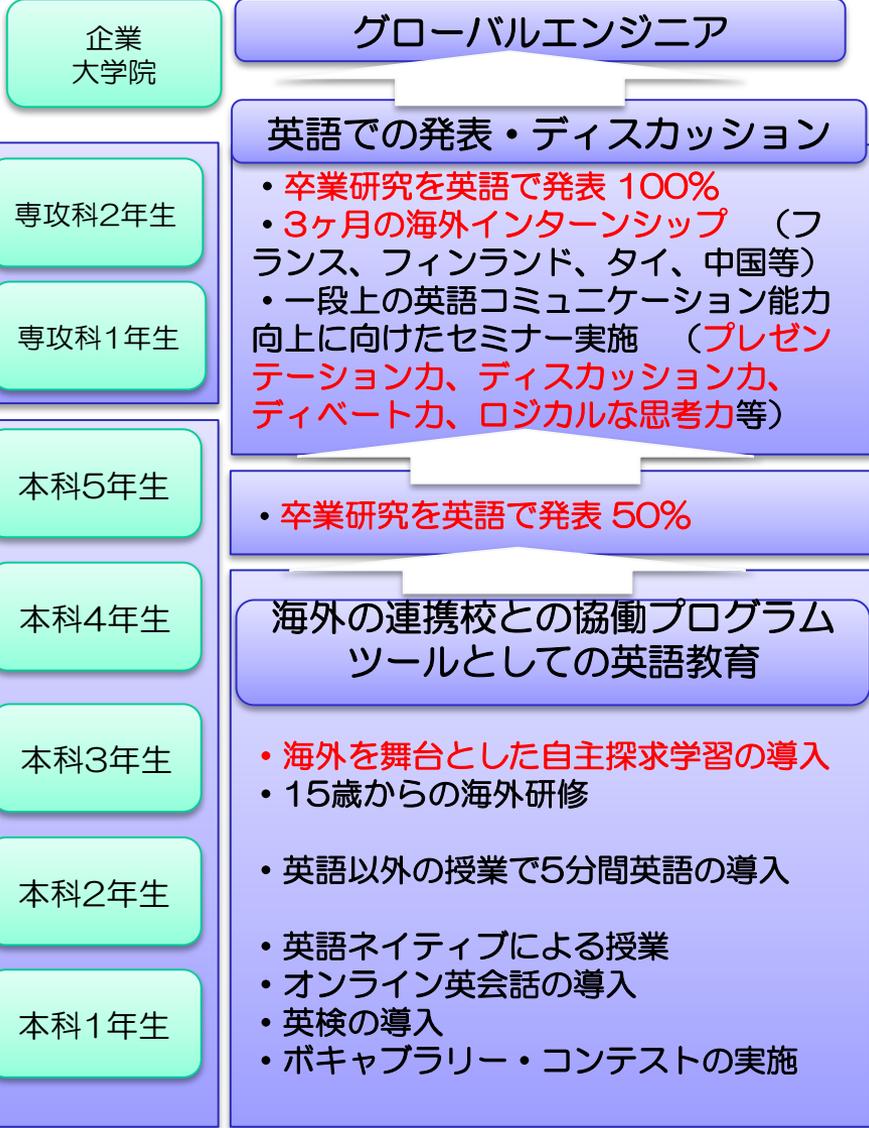
平成28年度からグローバル高専事業(展開型)実施高専【ブロック拠点校】グローバル教育に関する知見等をブロック内の高専に展開し、グローバル人材育成教育の向上に中核的な役割を果たす(各ブロック1校)。年間予算:約2千万円

ブロック	第1	第2	第3	第4	第5
高専名	八戸	福島	岐阜	津山	鹿児島

本校が第1ブロック(東北・北海道地区高専9校:福島除く)のグローバル高専拠点校となった。

# 平成28年度～ グローバル高専事業 －15歳から世界を舞台とし・活動できるグローバルエンジニアの育成－

15歳から世界を舞台と意識し・活動できるグローバルエンジニア育成に向け、**自律的な課題探究能力、調査・研究を行う能力**を備えた高専力育成の強化を図ることを目的とする。



- 事業の取り組み内容**
- (1) 自主探究をコアとしたカリキュラムの開発および海外での自主探究学習の環境整備
  - (2) 海外の教育機関と連携した自主探究学習の実施
  - (3) ツールとしてのEnglish (実践的英語教育)  
(英語以外の授業で5分間英語の導入、英語ネイティブによる授業、オンライン英会話の導入)
  - (4) 専門分野としての研究を英語で発表・報告
  - (5) 外部英語試験の資格(英検)
  - (6) ポキャブラリー・コンテストの実施
  - (7) 一段上の英語コミュニケーション能力向上に向けたセミナー (学生対象) の実施
  - (8) 教職員のグローバル教育力向上の研修
    - ・専門科目を英語で教えるトレーニング
    - ・異文化コミュニケーション研修等

# グローバル高専事業と各校の取り組み・連携について

## 1. 教職員のグローバル教育力向上

### ●グローバル高専事業

1. アリゾナ大学教員研修
2. グローバル教育力向上フォーラム
  - ・アリゾナ研修フォローアップ
  - ・国際交流担当者向けWS
  - ・異文化コミュニケーションWS

### ●各校での取り組み

- ・学内でのFD講習会
- ・学内での英語講習会
- ・海外ショートサバティカル制度

## 2. 学生の英語コミュニケーション力向上 グローバルリーダーの育成

### ●グローバル高専事業

1. オンライン英会話
2. 異文化コミュニケーションWS
3. グローバルリーダーセミナー

### ●各校での取り組み

- ・英語でのプレゼンテーション実施
- ・英語テストの実施
- ・e-learningの活用
- ・図書館にグローバル書籍コーナー
- ・グローバルカフェ（留学生の交流）

## 3. 海外派遣・受入の推進

### ●グローバル高専事業

- ・海外連携校との連携強化

### ●各校での取り組み

- ・学生の海外派遣  
(語学研修・インターンシップ)
- ・教職員の海外派遣
- ・留学生の受入

# 1. 教職員のグローバル教育力向上

## グローバル高専事業

### 1. アリゾナ大学教員研修



平成28年度：北海道地区・八戸、平成29年度：全高専

### 2. アリゾナ大学研修参加者フォローアップ・平成29年度参加予定者対象の事前研修



### 3. 異文化コミュニケーションWS

平成28年度：函館、八戸  
平成29年度：秋田、仙台

実践

### 専門分野の英語での授業実践

### 英語以外の授業での5分間英語タイム導入

- 【八戸】
- 専攻科での専門科目の英語での授業（一部で実施）
  - 英語以外の教科の最初の5分を英語タイムとし、前回の復習等を行う

### 学内での講習・講座

- 【秋田】
- 海外研修参加教員によるFD研修会
- 【一関】
- 外国人講師による英語プレゼンテーション講座
- 【仙台】
- イングリッシュカフェ・語学研修
- 【八戸】
- 英語倶楽部（英会話）
  - グローバルカフェ（学生）

### 海外ショートサバティカル制度

- 【函館】
- 平成28年度より毎月1人ずつ海外の大学や研究所で研修を行う。
- ※海外ショートサバティカル制度  
教育研究能力の研鑽と海外ネットワーク形成の支援のため、一定期間にわたり海外研究機関等で研究に専念させる制度

## 2. 学生の英語コミュニケーション力向上 グローバル・リーダー育成

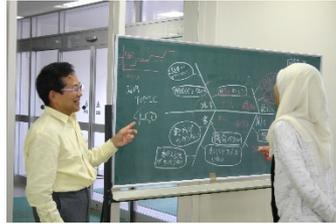
### グローバル高専事業

#### オンライン英会話



平成28年度：函館、八戸  
平成29年度：旭川、八戸  
秋田、一関、仙台、鶴岡

#### グローバルリーダー セミナー



平成28年度：八戸  
平成29年度：全高専

#### 異文化コミュニケーション WS



平成28年度：函館、八戸  
平成29年度：秋田、仙台

#### e-learningの活用

- 【函館】1学年の授業でリスニング強化
- 【秋田】ALC NetAcademyを授業に導入
- 【釧路】【仙台】自学自習

#### 英語資格・学カテストの実施

- 【八戸】
  - 1～3年に英検を実施
  - TOEIC-IPを実施
- 【苫小牧】
  - 1～3年「英検IBA」
  - 4～専攻科生「TOEIC-IP」(単位認定)
- 【仙台】
  - TOEIC-IPを年5回実施
  - TOEIC-Bridgeを年1回実施
- 【鶴岡】
  - 英検を準会場として実施
  - 4年次にTOEIC受験義務化
  - TOEIC試験を年5回実施
  - パフォーマンステスト(実施予定)

#### 英語でのプレゼンテーション

- 【八戸】
  - 本科生卒業研究の英語での発表約50%
  - 専攻科生卒業研修の英語での発表約100%
  - プレゼンテーションセッション(実施予定)
- 【鶴岡】
  - 専攻科成果発表ポスター英語作成
  - 専攻科成果発表英語発表(実施予定)

#### 学内でのコーナー・イベント

- 【仙台】図書館での多読コーナー
- 【八戸】グローバル書籍コーナー
- 【仙台】【八戸】交流カフェ(留学生との交流の機会)

#### 独自カリキュラムの検討

- 【秋田】
  - 1～3年：グローバル基礎プログラム
  - 4～5年：グローバルエンジニアリングプログラム

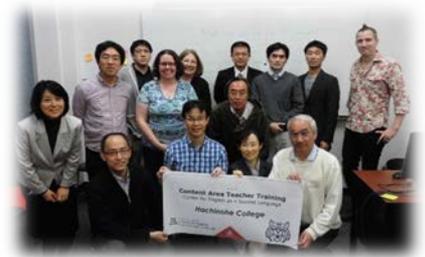
## 学生派遣

## 教職員派遣

※教職員派遣は、研修のみ記載

# 3-① 海外派遣の推進

平成28年度・第一ブロック 学生の海外派遣数 **204名**



アリゾナ大学教員研修  
北米・南米

### ヨーロッパ

● **フィンランド**  
仙台

● **スイス**  
函館

● **フランス**  
函館・八戸  
一関・秋田

● **ドイツ**  
函館

● **イギリス**  
一関・鶴岡

第一ブロック  
9高専  
(10キャンパス)

### アジア

● **モンゴル**  
八戸

● **中国**  
八戸

● **タイ**  
釧路・仙台・鶴岡  
釧路

● **ベトナム**  
鶴岡

● **シンガポール**  
函館・八戸・秋田・鶴岡

● **インドネシア**  
鶴岡

● **マレーシア**  
鶴岡・秋田

● **アメリカ**  
函館・釧路・八戸  
函館・釧路・秋田  
全校 (アリゾナ大学教員研修)

● **メキシコ**  
鶴岡

● **ペルー・ボリビア・チリ**  
鶴岡

### オセアニア

● **オーストラリア**  
一関・函館

● **ニュージーランド**  
鶴岡



※参考 海外インターンシップ  
機構本部の中期計画

第3期中期計画目標 246名  
平成28年度までの実績 64名  
平成29~30年目標数 182名



# 3-② 留学生の受入



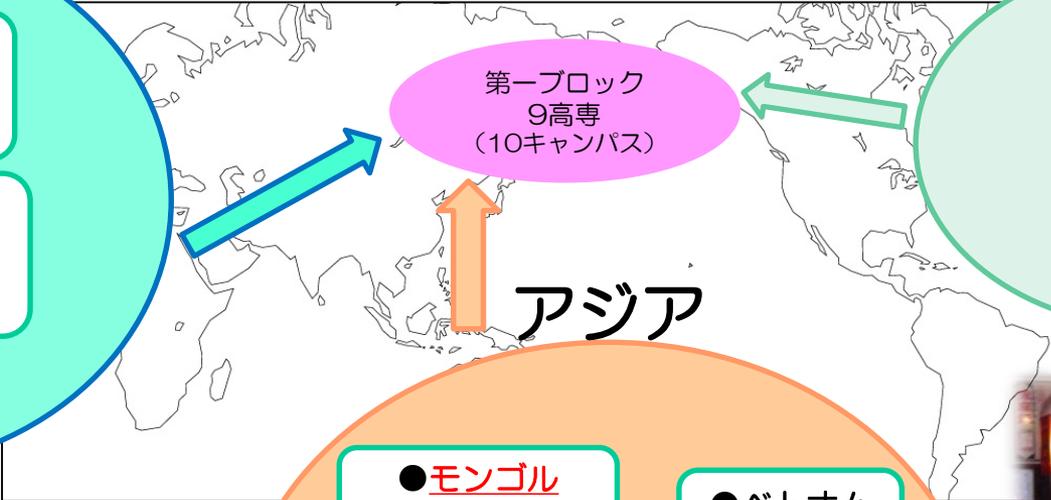
平成28年度・第一ブロック 留学生の受入数 **170名**

## ヨーロッパ

- **フィンランド**  
仙台・八戸  
釧路・秋田・鶴岡
- **フランス**  
函館・釧路・八戸  
仙台・秋田・鶴岡
- **ドイツ**  
仙台

## 北米

- **アメリカ**  
八戸



## アジア

- **モンゴル**  
苫小牧・八戸
- **タイ**  
釧路・八戸  
仙台・鶴岡
- **シンガポール**  
鶴岡
- **ベトナム**  
鶴岡
- **マレーシア**  
八戸・秋田



- 【東北・北海道地区コンソーシアム】
- ・リールA、ベツヌヌ、ヴァランシエンヌ、ランス、カレー、ルアブル技術短期大学 (フランス)
  - ・トウルク応用科学大学 (フィンランド)
- 【八戸】
- ・エドグレン高等学校 (アメリカ)
  - ・オタゴポリテクニク (ニュージーランド)
  - ・Central Region College of Technology Economics and Water Resources (ベトナム)
  - ・新モンゴル高専 (モンゴル)
  - ・大連交通大学 (中国)
  - ・アリゾナ大学人門学部 (アメリカ)
  - ・テマセクポリテクニク (シンガポール)

# 研究活動及び社会との連携

## 地域テクノセンター・地域連携係

目的：産官学連携交流拠点・連携を推進・地域へ技術貢献

⇒ 地域社会の発展に貢献すること。

## ■ 主な業務

- ① 産・官・学・金交流に関する業務
- ② 地域企業に対する技術指導・助言
- ③ 受託研究・試験研究・共同研究の実施
- ④ 公開講座(高度技術者養成研修含む)の実施
- ⑤ 講演会及び講習会の実施
- ⑥ 地域企業で主催する講演会及び講習会への協力及び講師派遣
- ⑦ 学内における学科横断プロジェクト研究の推進
- ⑧ センター報の発行
- ⑨ 企業説明会の実施 等

## ■ 研究に関する事項

外部資金獲得, 産官学金連携, 知財管理 等

## ■ 社会との連携に関する事項

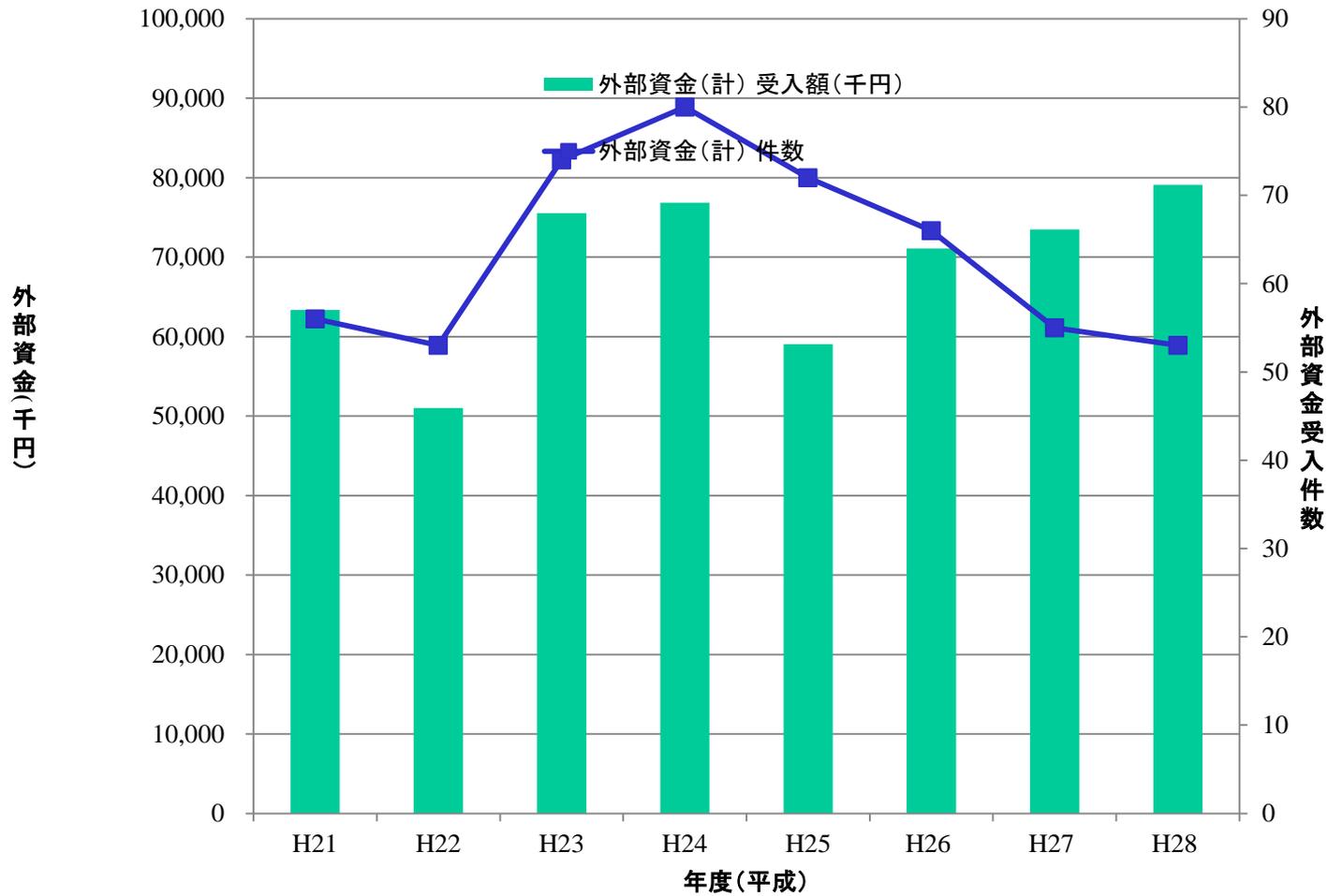
地域技術者への貢献, 理科教育支援 等

# 研究に関する事項(1)

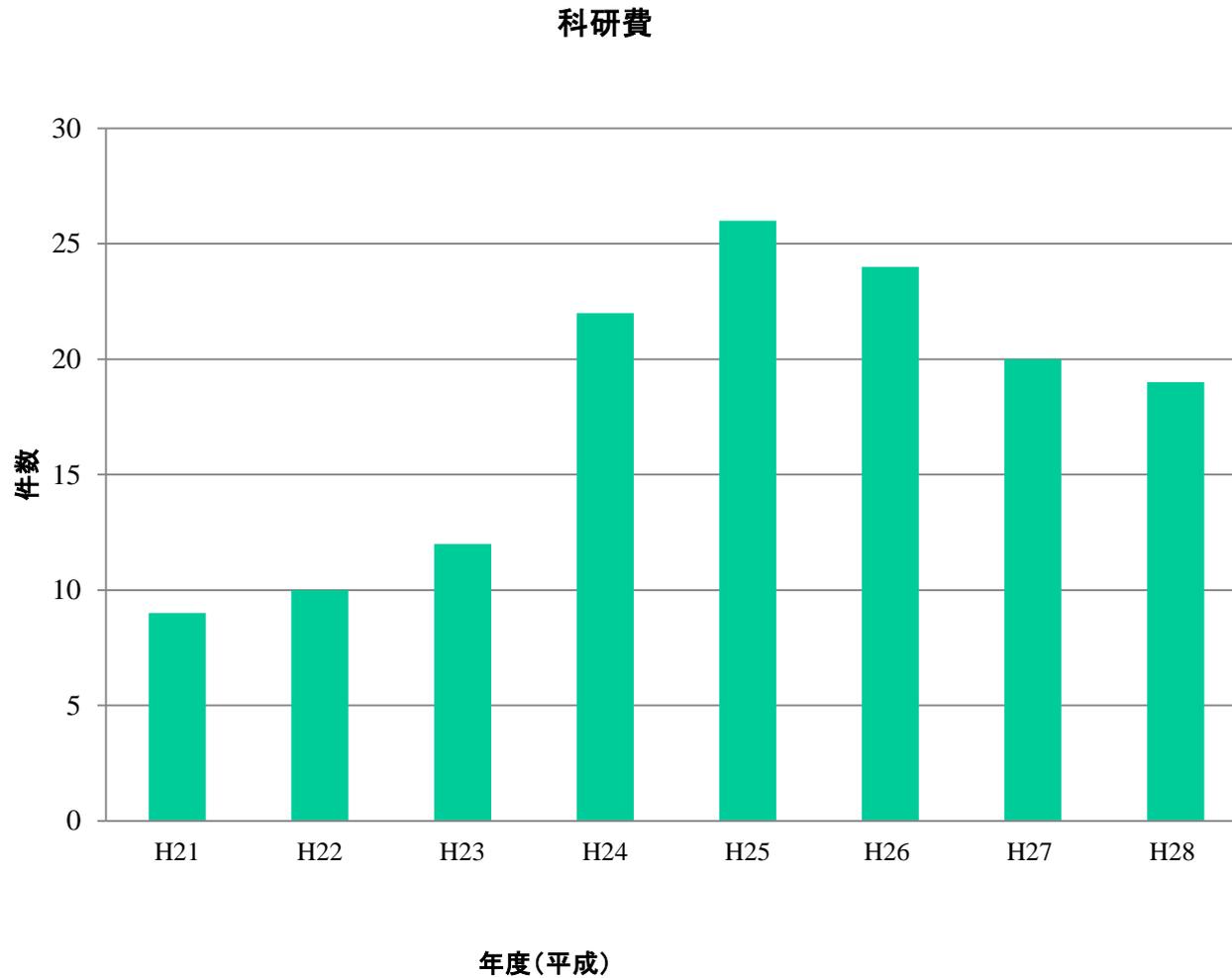
## ■ 外部資金獲得

- \* 高専フォーラムの参加(平成29年8月、長岡技術科学大学)
- \* 研究シーズ等のPR
  - ・「地域テクノセンター報」, 「研究シーズ集」の発行 ⇨ イベント等で配布
  - ・デーリー東北「きたおおう研究室最前線」での研究シーズ紹介  
⇨ 平成25年2月～(継続中)
  - ・デーリー東北「発言席」での研究シーズに基づいた投稿コラム  
⇨ 平成26年6月～(継続中)
  - ・情報誌「てくのろじい Acros」での研究シーズ紹介(年1回)  
( (公財)八戸地域高度技術振興センター発行)
  - ・「企業見学会」 ⇨ 企業ニーズ, 平成29年9月19日実施  
(永木精機・青森宝栄工業)

# 外部資金

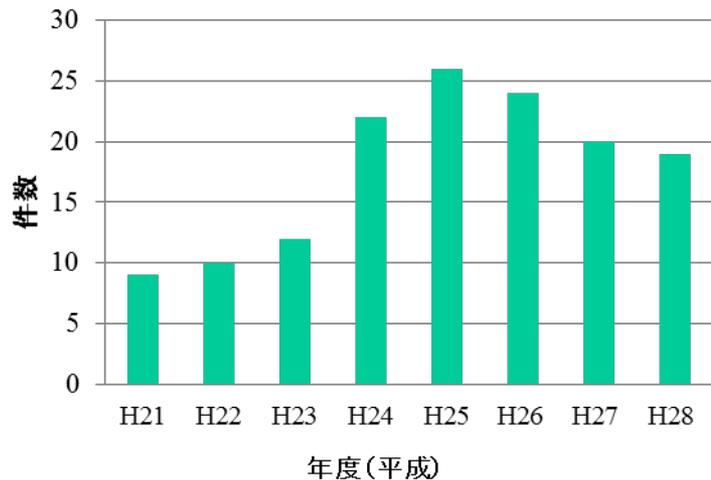


# 科学研究費補助金

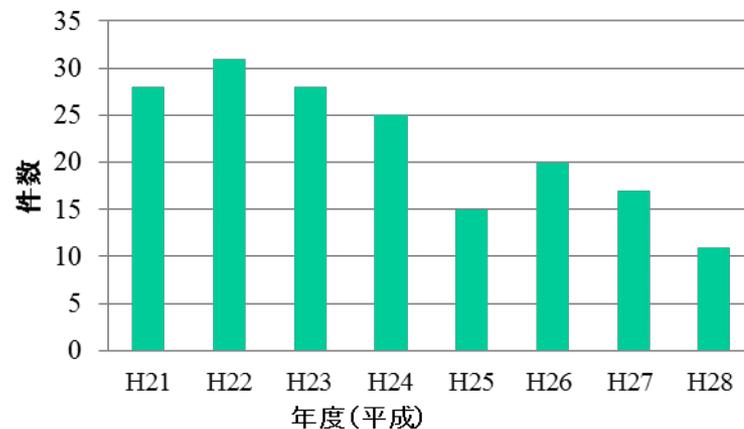


# 地域連携（外部資金獲得件数）

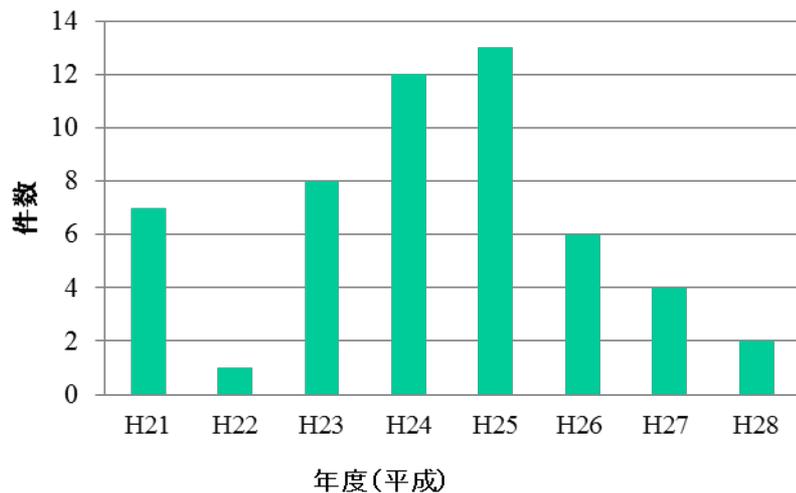
## 科研費



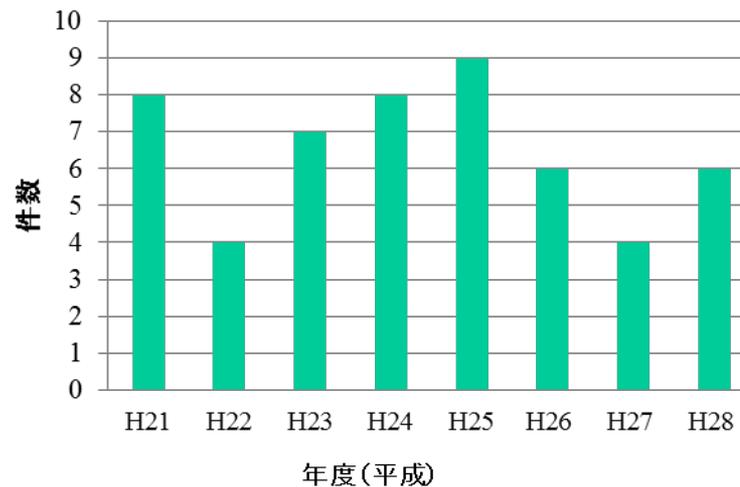
## 寄付金



## 受託研究

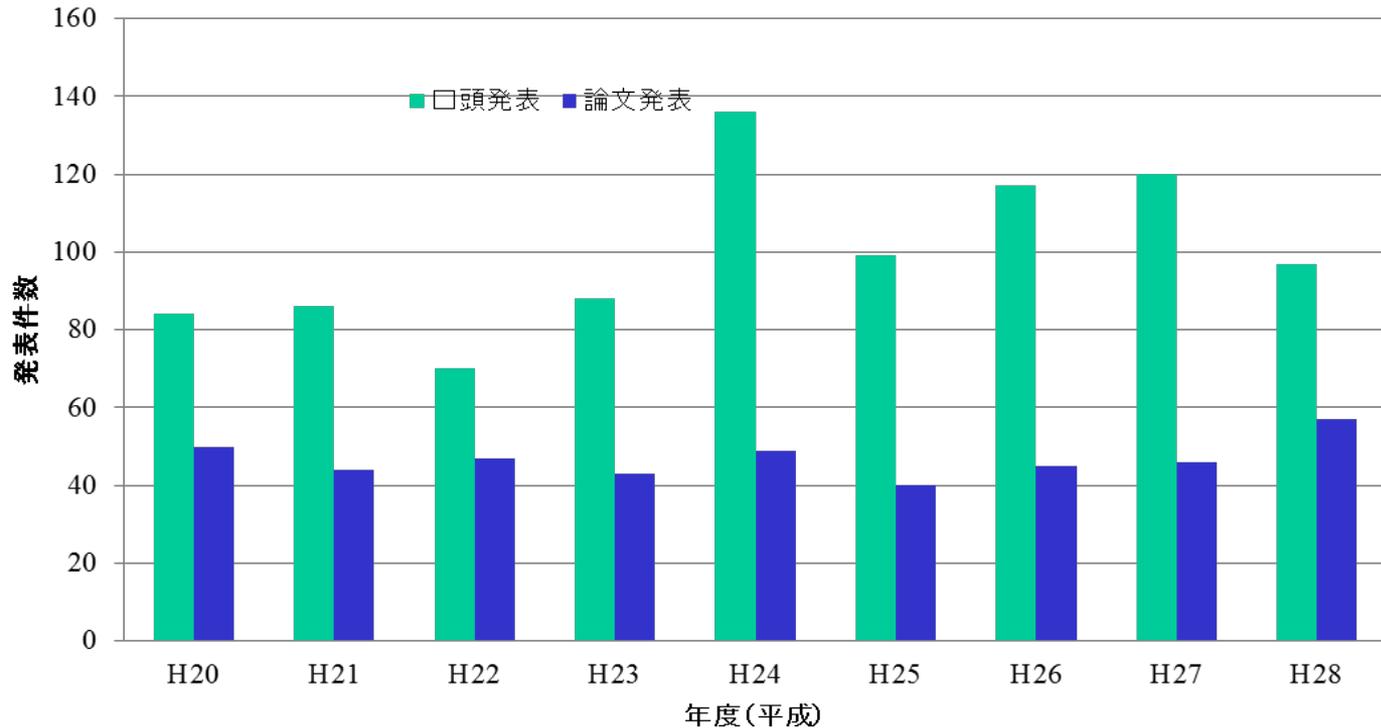


## 共同研究



# 成果発表（口頭発表・論文発表）

本人の申告による



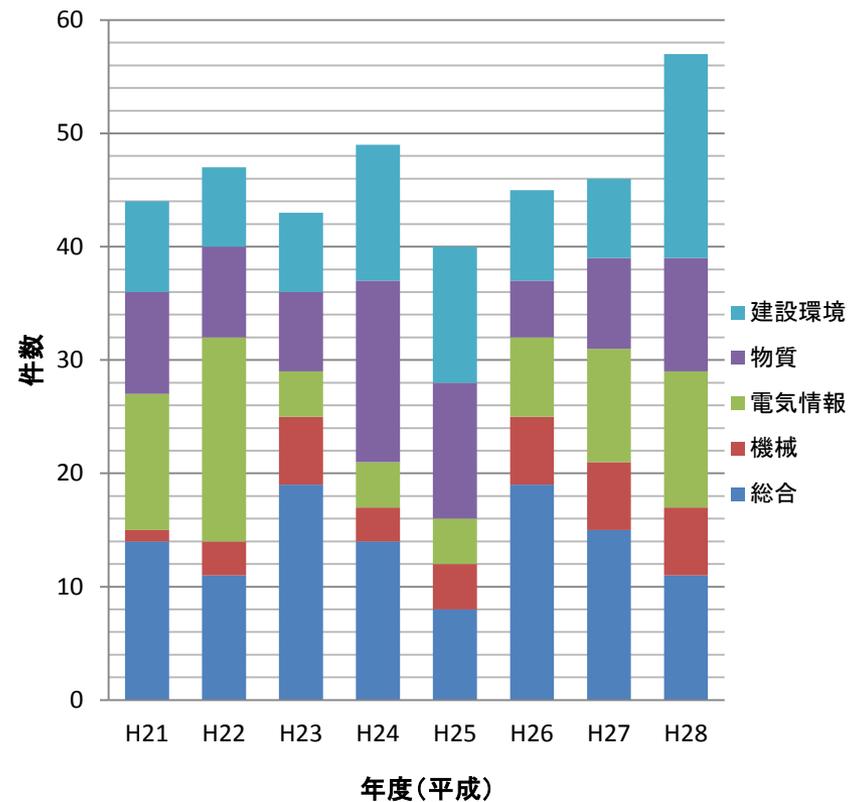
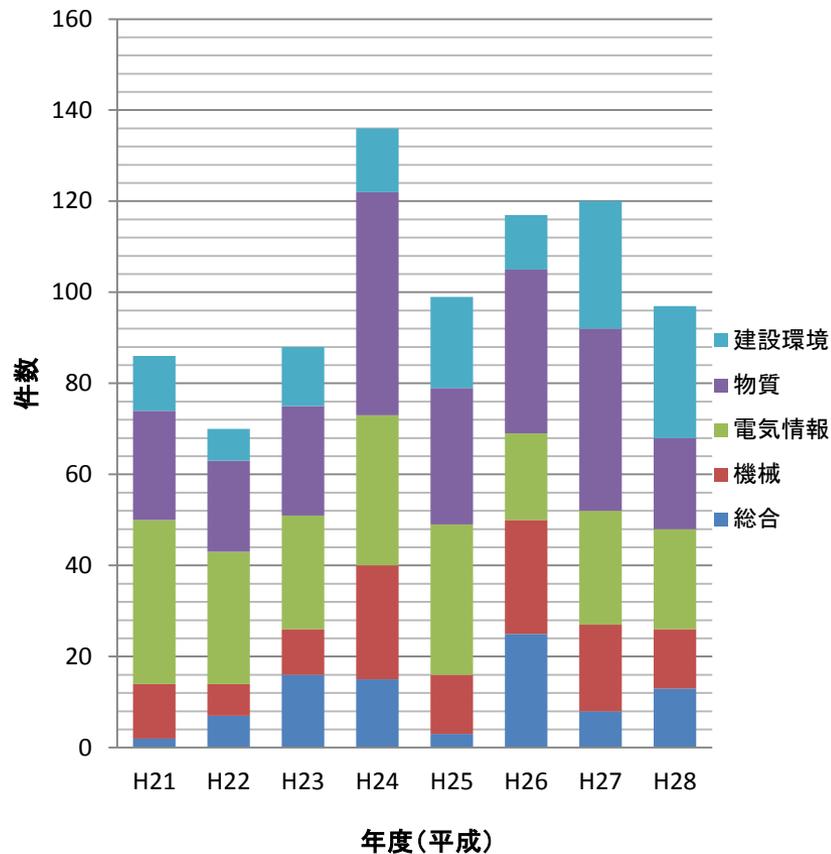
口頭発表80-120件・論文数40-50件／年

# 成果発表（学科別）

口頭発表

本人の申告による

論文



活発な論文発表に期待

# 研究に関する事項(2)

## ■産官学連携・知財関連(平成29年度)

### \*産官学連携イベント参加(シーズPR, 情報収集)

・四校学術交流会 ⇨ 弘前大、岩手大、一関高専と研究開発交流  
八戸高専, 9月15日

・「あおもり産学官金連携Day2017」 出展

⇨ イノベーション・ネットワークあおもり, 10月24日

### \*外部資金獲得状況報告と公募情報の紹介(教員会議)

### \*青森県の知的財産連携会議への参加

# 社会との連携に関する事項(1)

## ■ 地域技術者への貢献

### ■ 地域技術者の人材育成事業

#### \* 「CAD/CAMシステムの基礎と実際」講座

⇨ 5-9月 3テーマで実施 (機械系ものづくりの基礎 他)

## ■ 理科教育支援

#### \* 『化学の学校ー中学校と高専のジョイントレクチャー』

⇨ 中学生対象. 平成29年8月7日・8日開催  
中学生85名参加

#### \* 『クリスマスレクチャー in 八戸高専2017』

⇨ 中学校理科教員対象. 平成29年12月25日に開催

# 社会との連携に関する事項(2)

## ■ 地域への貢献

### ■ 出前講座(講師派遣)

⇒ 根城公民館, 上長公民館, 八戸市立第一中学校, 柏崎小学校, 八戸小学校, 吹上小学校, 千葉幼稚園, 階上町, 青森市, 原燃サイエンスフェスティバル、サイエンス体験事業等派遣

### ■ 公開講座(各学科で実施): 小学生, 中学生, 一般市民対象

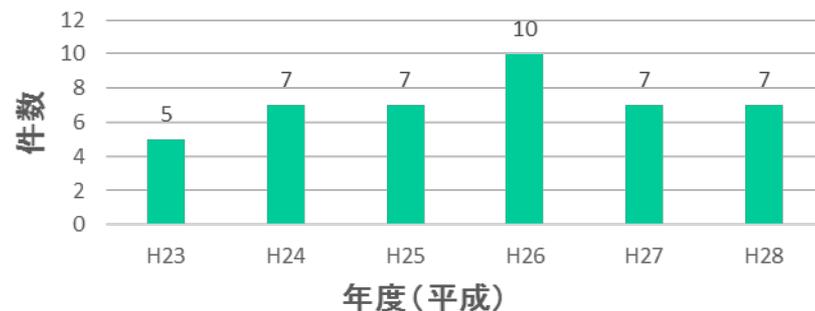
⇒ 「メカnoワールドAコース, Bコース」, 「ロケットはなぜ飛ぶか」  
「ジュニアロボット教室」, 「第2種電気工事士事前講習会」  
「建設環境公開講座シリーズーまちづくり講演ー」, 「無線LANって」  
「ジュニア柔道 クリニック」, 「Trip to the Galaxy:Adventure in English」, 「Read to ACT!」等

# 地域連携

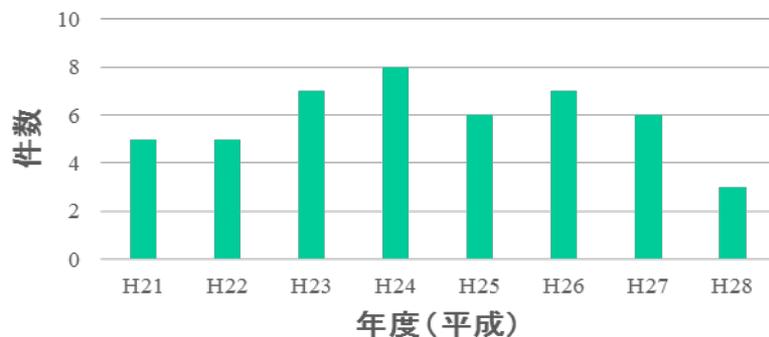
## 公開講座



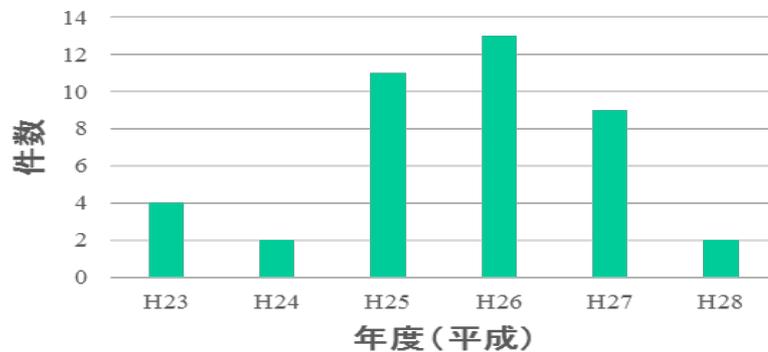
## 出前講座・授業



## テクノフォーラム等出展



## 技術相談



## \*その他(平成29年度)

- ・産学交流の日 ⇒ グランドサンピア八戸, 11月6日
- ・八戸高専COC+平成29年度イノベーション・ベンチャーアイデアコンテスト2017 ⇒ 八戸プラザホテル, 12月9日
- ・八戸高専まちなか文化祭 ⇒ ラピア, 12月16日

# 【相談室運営委員会】相談室の体制

- 1. 相談室運営委員会(関係教職員)
  - インターカー 看護師1名
  - 相談員(各科教員)5名
  - 2課長
- 2. 学生向け相談員  
精神科医師、産業カウンセラー、  
臨床心理士(3名)
- 3. 教職員向け(学生も可)相談員  
名誉教授(3名)  
「学生相談室」ではなく「相談室」

# 医師・カウンセラーの担当表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1週		名誉教授	名誉教授	産業カウンセラー◎ 名誉教授	臨床心理士
第2週		名誉教授 臨床心理士	精神科医師 名誉教授	臨床心理士◎ 名誉教授	
第3週		名誉教授	臨床心理士◎ 名誉教授	名誉教授	
第4週		名誉教授	精神科医師 名誉教授	臨床心理士◎ 名誉教授	

注1) 黒文字は学生対象、赤文字は教職員対象(学生も可)

注2) ◎: 女性の担当者

# 【相談室運営委員会】

## 平成29年度行動計画＜メンタルヘルス＞

- ① 国立高等専門学校教職員を対象としたメンタルヘルスに関する研修会に教職員を派遣するとともに、その他の研修会にも必要に応じて教職員を派遣する。そして、その内容について、FDで報告し、メンタルヘルスの啓蒙を行い、学生の面談につなげる。
- ② 教職員を対象とした学生のメンタルヘルス等に関する講演会等を実施する。また相談室主催の学生向けの講演会も実施する。
  - 9月6日 ハラスメント防止講演会実施(リスク管理委員会と共催)
  - 12月6日 1年生向け講演会実施予定

「目指そう！グッドコミュニケーションー相互尊重のススメー」
- ③ 教員による懇話室での学生との交流と保健室の看護師(インターカー)を窓口としたカウンセラー(精神科医、臨床心理士等)の面談による学生のメンタルヘルスの支援体制を維持する。

# 【相談室運営委員会】

## 平成29年度行動計画<メンタルヘルス>

- ④要支援学生については、特別支援体制(チーム)で支援する。

### 障害者相談室の設置－障害者の相談窓口

(室長、副室長、看護師、カウンセラーで構成)

- ⑤人間関係づくりや思いやりのある学級づくりに効果が期待される構成的グループエンカウンターを低学年に実施する。

【特色ある取組①】一年生の入学後は、特に重要。

## 構成的グループエンカウンター

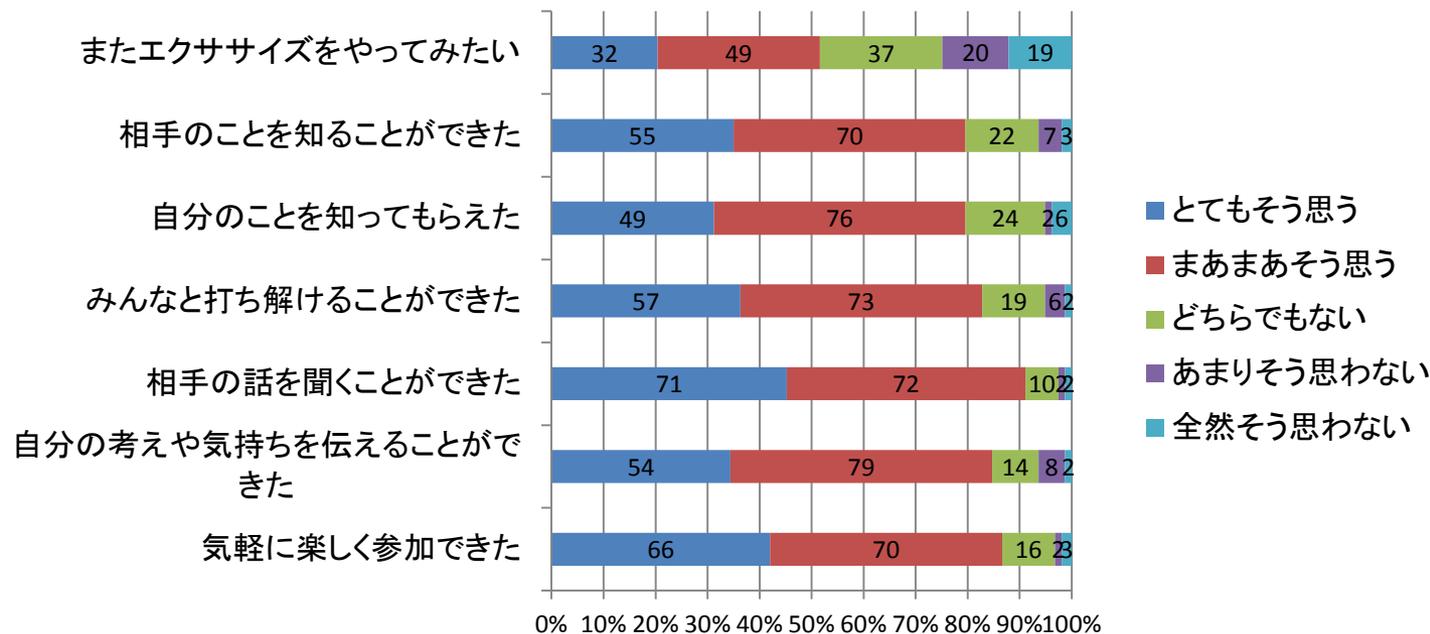
フリー  
ウォーク

こんなクラ  
スにしたい



# 【相談室運営委員会】 平成29年度行動計画<メンタルヘルス>

構成的グループエンカウン  
ターアンケート調査結果



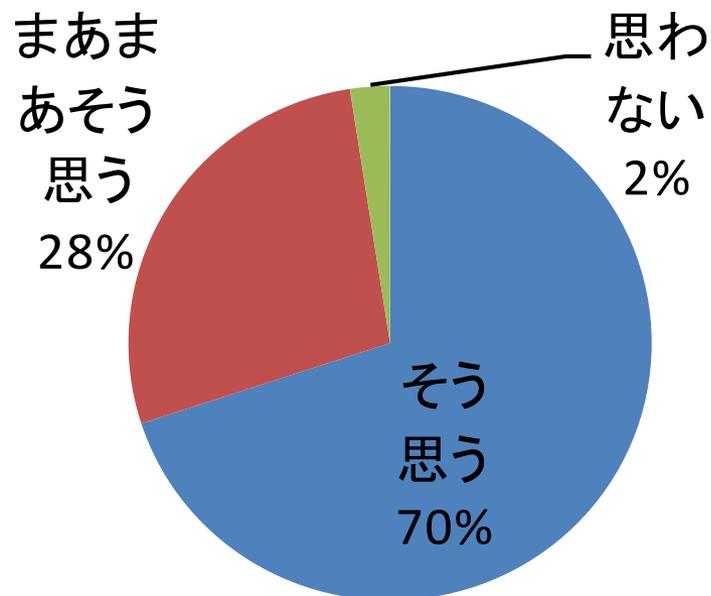
- ⑥低学年でQ-U (Questionnaire-Utilities) 検査を実施し、学級運営や学生個人の支援に生かす。

全学年に「**こころと体の健康調査**」(高専機構作成)を年2回実施。



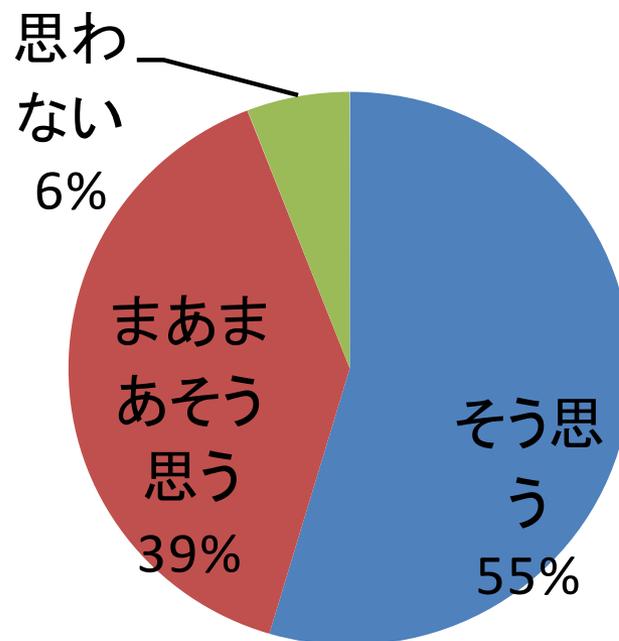
『話してみよう! 1分間』を実施したことにより、相談しやすくなったと思いますか？(H28)

1回目



思う  
98%

2回目



思う  
94%

# 男女共同参画 1

## ● 高専機構の掲げる男女共同参画の目標(H26.1.27改訂)

- ①本科入学者に占める女子学生の比率 30%以上
- ②新規採用教員に占める女性比率 専門学科20%以上、全体で30%以上
- ③教授職に占める女性比率 7%以上
- ④管理職(課長以上)に占める女性比率 10%以上

## ● 本校の現状 (平成29年12月1日現在)

- ①H28年度新入生の女子比率**27.3%**...昨年度 **30.1%** **低下傾向!**  
(入学者実数 29年度45:120, 28年度50:116, 27年度57:102)
- ②新規採用教員に占める女性比率 専門学科**0%**、全体で**0%**  
(採用実数 29年度 0:2名、28年度 0:3名)
- ③教授職に占める女性比率 7.69% (実数 2:26名)
- ④管理職(課長以上)に占める女性比率 **0%** (実数 0:3名)

# 男女共同参画 2

- 高専機構の男女共同参画(継続事業)

H27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)及び(連携型)」

事業期間:H27-32

補助金学:年間30,000千円上限

## ◎目標

①女性研究者在職比率の向上 11.3%までに

②女性上位職比率の向上 校長1名以上、教授5.5%以上

→現在、**女性校長2名**

## ◎主な取り組み事業

「めざせ高専研究者の道」プログラム、同居支援プログラム、

Re-Start支援プログラム、外部資金獲得支援プログラム、研究支援員配置制度、

上位職登用のためのポジティブ・アクション

# 男女共同参画 3

## 八戸高専におけるH29年度実施の事業

①平成28年度科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」(代表:岩手大学)の共同研究機関としての活動

- ・共同研究4件への参加(計約70万円)
- ・女性研究者 研究・交流会、各種セミナー等への参加
- ・ロール・モデル講演会等の主催
- ・本校女性研究者・OGの活動紹介

②【八戸高専女子学生キャリア塾】継続中

- ・女子学生のオープン・キャンパス(弘前大学)参加引率  
---COC事業
- ・女子学生のオープン・キャンパス(岩手大学)参加引率  
---男女共同参画委員会主催

③高専女子フォーラムin関西への発表女子学生2名派遣(12月予定)

④高専女子フォーラムin東北・北海道への発表女子学生派遣(3月予定)

# 男女共同参画 4

## ● 本校の現状と課題

### ① 女性研究者採用実績 0

・・・現在、英語科目担当教員の**女性限定公募**を実施中

### ② 女性研究者の研究支援の継続

平成28年度採択の科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」(代表:岩手大学)により、女性研究者を代表とする共同研究への支援が実現・・・**今後の成果へつなげる**には何が必要か？

研究業績の充実→上位職への登用

# 男女共同参画 5

## ● 本校の現状と課題 2

③ 将来の女性研究者・高専教員養成にむけて

本科卒業生

26年度編入学 進学率 女子31.3% 全体43.9%

27年度編入学 進学率 女子39.5% 全体42.0%

28年度編入学 進学率 女子30.8% 全体43.8%

29年度編入学 進学率 女子37.2% 全体34.7%

30年度編入学 進学率 女子**33.3%** 全体**33.8%**の見込み

専攻科修了生

29年度大学院入学 進学率 女子54.5% 全体48.8%

30年度大学院入学 進学率 女子**42.9%** 全体**40.0%**

の見込み

女性研究者裾野拡大のため、  
女子学生の進学促進、研究職への進路指導が課題

# リスク管理関係（これまでの活動）

## \* 校内規則の整備とリスク管理室の設置

- ・校内緊急連絡体制の整備
- ・危機管理規則制定（平成23年度） ⇨ 平成28年度改訂
- ・リスク管理室設置（平成23年度）
- ・高専機構本部との連携（平成24年度）
- ・緊急時のメール一斉配信システムの構築
  - ⇨ Office365による安否確認訓練（平成28年度実施）
  - 平成29年度は1月頃に実施予定
- ・いじめ防止対策ポリシーの制定と公開（平成26年度）

## \* 平成27～29年度の活動

- ・校内危険箇所等の調査（安全衛生専門委員会）：毎月実施（継続中）
- ・消防訓練の実施：H29.9.1実施（継続中）
- ・AEDの適正配置（8箇所）とレンタル化（レンタル化はH28年度）
  - AED講習会実施：H29.6.23実施（継続中）教職員・クラブ部員・学生対象

# \* 参考資料：学校施設関係 施設と効率化

## ◎施設

### ○耐震化

- ・主要建物：平成22年度に完了
- ・大規模天井等：照明器具の落下防止対策済(武道館)  
→今後は小規模建物の耐震調査及び補強が必要

### ○改修計画

- ・学生寮：生活環境改善に向けた整備、女子寮不足、国際交流のための整備  
(シャワー室、洗濯乾燥室整備、女子寮セキュリティ、管理棟トイレ等改修)  
寄宿舎N棟シャワー室他改修、寄宿舎E棟改修(営繕要求中)
- ・地域テクノセンター：全面改修(概算要求中)

### ○中村宿舎跡地

- ・国庫への現物納付、譲渡に向けて協議中

## ◎効率化

### ○省エネ

- ・光熱水料を会議等で報告、啓発ポスター掲示、照明灯LED化

### ○弘前大学との共同調達

- ・A重油、蛍光灯、トイレトーパー、ごみ袋及び小荷物運送業務

# 過去の主な工事及び今後の予定…(1)

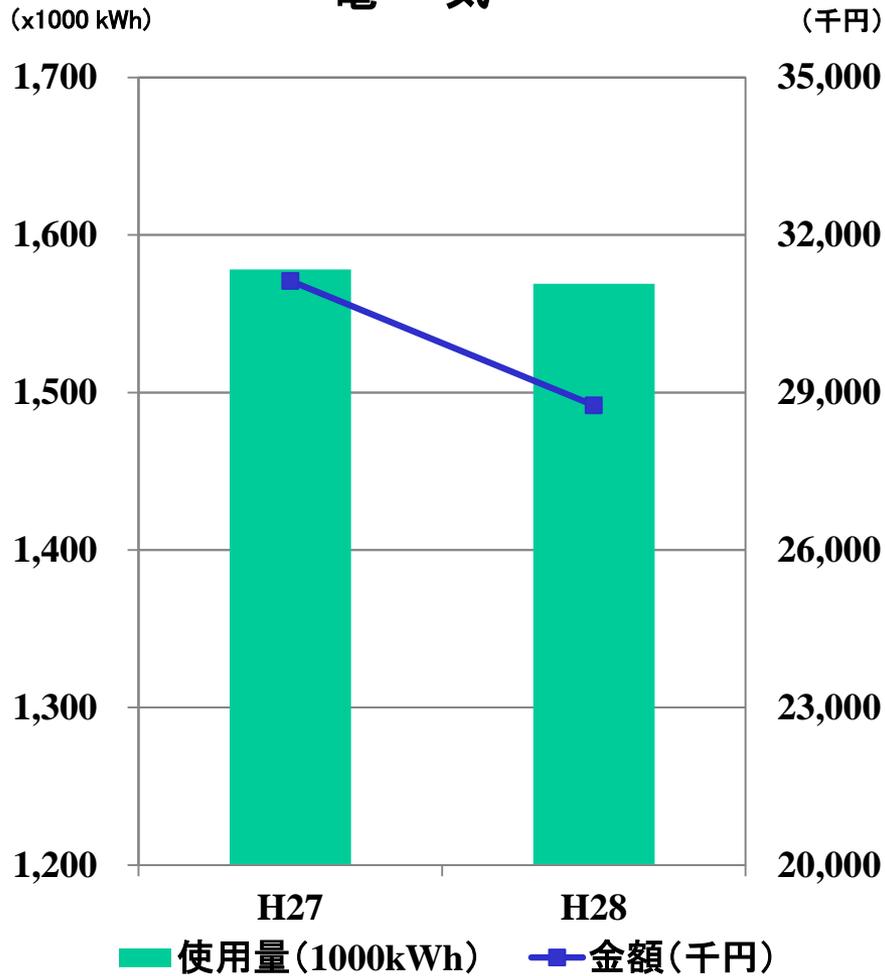
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄宿舎S棟耐震改修</li> <li>・校舎系統受水槽改修</li> <li>・職員宿舎(中村)とりこわし(5棟)</li> <li>・職員宿舎(上野平)外壁改修</li> <li>・第二体育館バスケットゴールの一部取替え</li> <li>・プール塗装塗り替え</li> <li>・校舎廊下照明の省電力化工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧工事(東日本大震災関連)</li> <li>・寄宿舎W棟東側トイレ等改修</li> <li>・寄宿舎S棟宿直室改修</li> <li>・校舎廊下照明・外灯の省電力化工事</li> <li>・書棚・ロッカー等の耐震対策工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄宿舎L棟洗面所等改修</li> <li>・サークル共用室屋上防水改修</li> <li>・寄宿舎N棟内部仕上改修(廊下等)</li> <li>・寄宿舎S棟浴室シャワー増設</li> <li>・寄宿舎渡り廊下塗装改修</li> <li>・寄宿舎食堂照明の省電力化工事</li> <li>・自動車工学部室の環境整備(暖房・給湯設備)</li> <li>・野球場等補修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館改修</li> <li>・図書館機能の一時移転 先整備</li> <li>・平成24年度補正予算の設備導入・更新に伴う電源等設置工事</li> <li>・寄宿舎B棟2・3階の暫定女子フロア化のための改修</li> <li>・野球場防球ネット修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50周年記念ホール整備</li> <li>・講義棟3階合併教室エアコン設置</li> <li>・教育研究支援センター室の整備</li> <li>・寄宿舎のトイレ等水廻り改修(E棟)</li> <li>・寄宿舎厨房内部改修</li> <li>・屋外運動場AED用電源設置</li> </ul>

# 過去の主な工事及び今後の予定…(2)

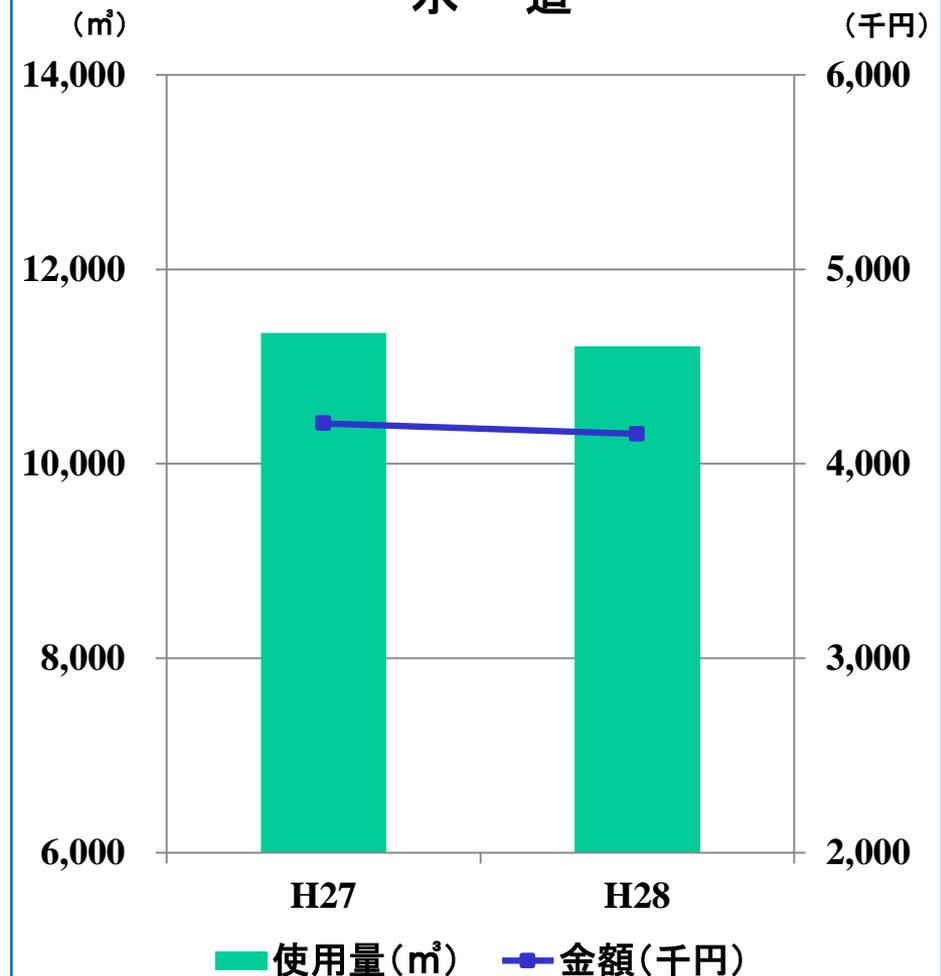
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度以降
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄宿舎浴室の給湯設備増設</li> <li>・寄宿舎のトイレ等水回りの改修(W棟西側)</li> <li>・校舎無線LAN用配線・電源の整備</li> <li>・女子寮セキュリティ(防犯カメラ)整備</li> <li>・寄宿舎廊下等照明の省電力化工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄宿舎の屋上防水・外壁改修(N棟1期)</li> <li>・構内ネットワーク通信ケーブル更新</li> <li>・都市建築棟屋上防水改修</li> <li>・都市建築棟エアコン更新</li> <li>・プール塗装改修</li> <li>・寄宿舎N棟(女子寮化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄宿舎の外壁改修(N棟2期)</li> <li>・ゼミナール棟保健室移転改修</li> <li>・福利厚生会館サークル室、ゼミ室改修</li> <li>・課外活動施設男子更衣室整備</li> <li>・プールサード滑り止め改修</li> <li>・寄宿舎B棟S棟防犯設備新設</li> <li>・マテリアル棟防水補修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>記念会館の整備</b></li> <li>・地域テクノセンター改修</li> <li>・寄宿舎N棟シャワー室他改修</li> <li>・第二体育館他改修</li> <li>・寄宿舎E棟改修(女子寮への転換)</li> <li>・構内防犯カメラ設置</li> <li>・構内電気錠設置</li> <li>・体育トレーニングセンター改修</li> <li>・寄宿舎の暖房管改修</li> <li>・寄宿舎温水ボイラー修繕</li> <li>・蒸気ボイラー修繕</li> <li>・ゼミナール棟外部改修</li> <li>・テニスコート改修</li> <li>・インフラ改修(排水設備)</li> <li>・プール鉄骨塗装改修</li> <li>・電話交換機設備改修</li> <li>・受電室内電気設備改修</li> </ul>

# 水道光熱費の推移（平成27-28年度）…（1）

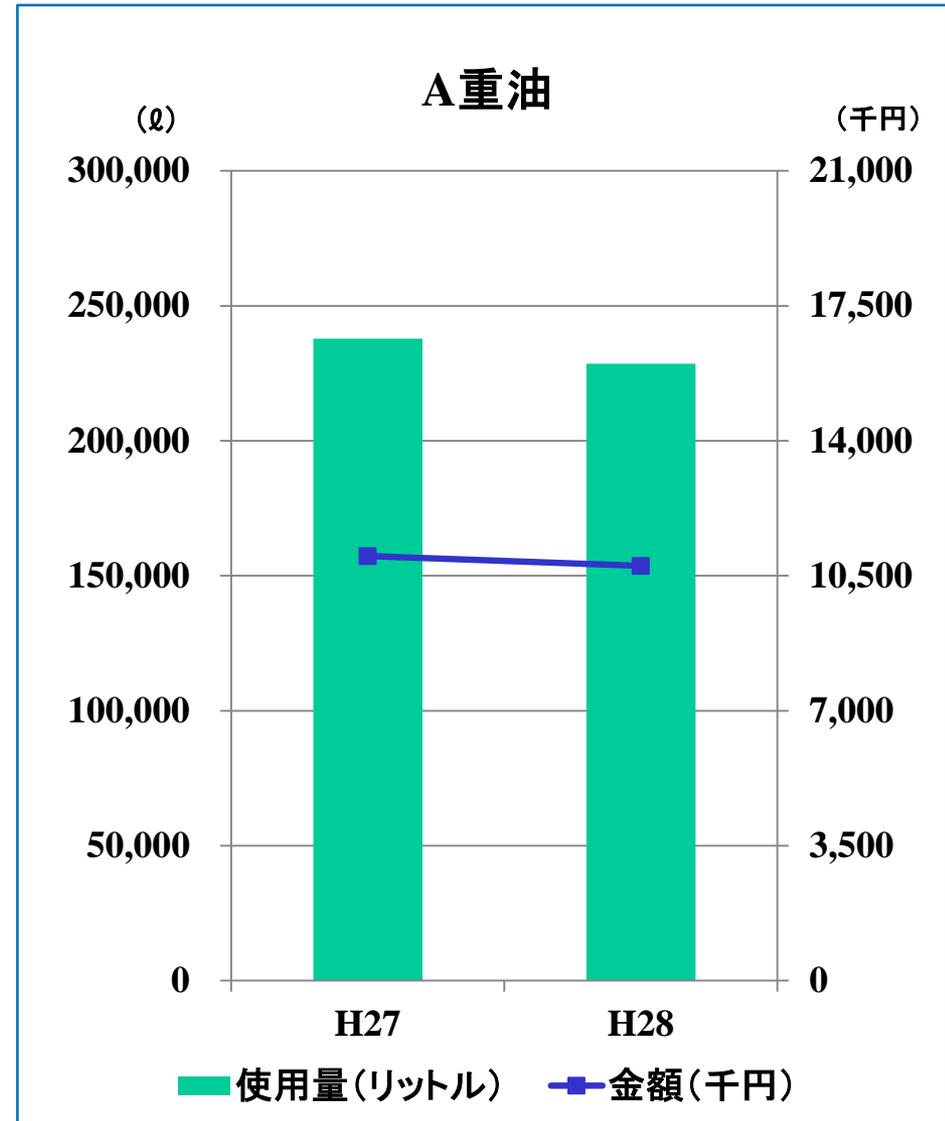
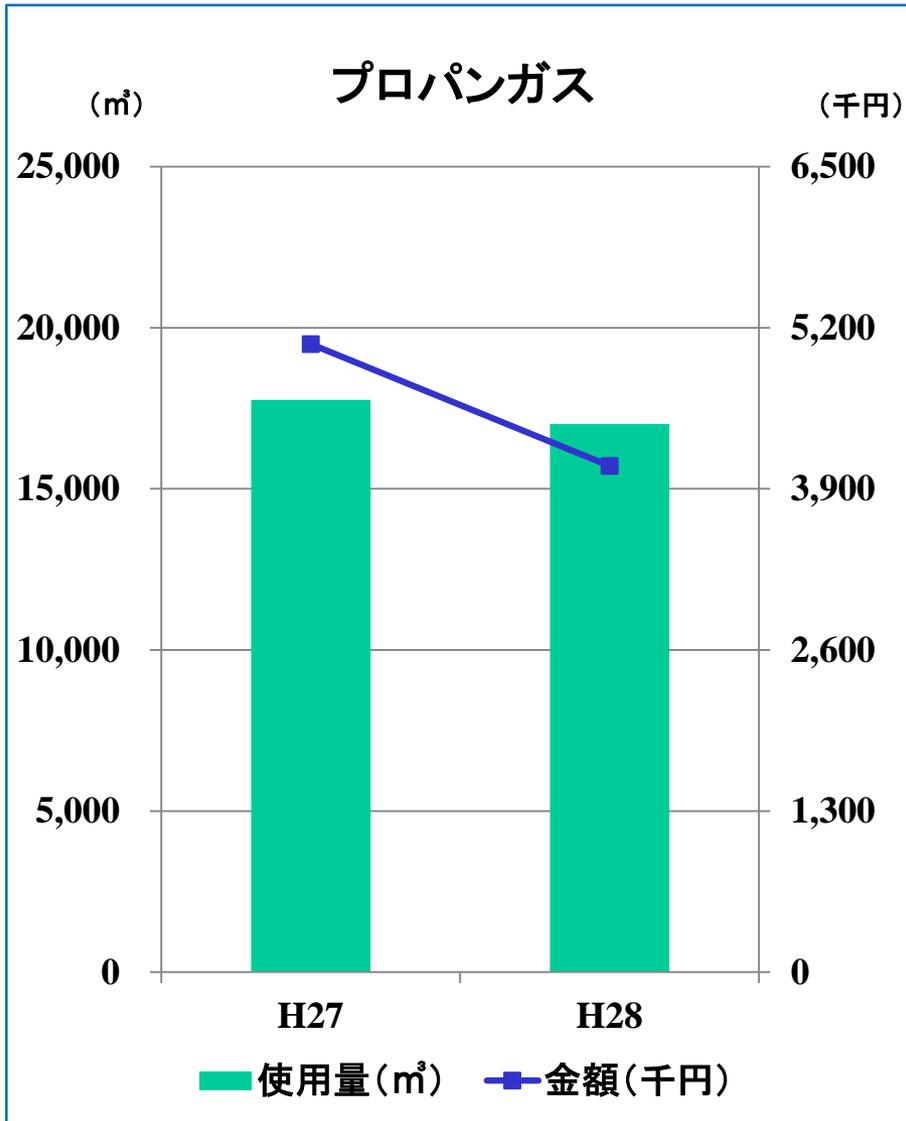
## 電 気



## 水 道

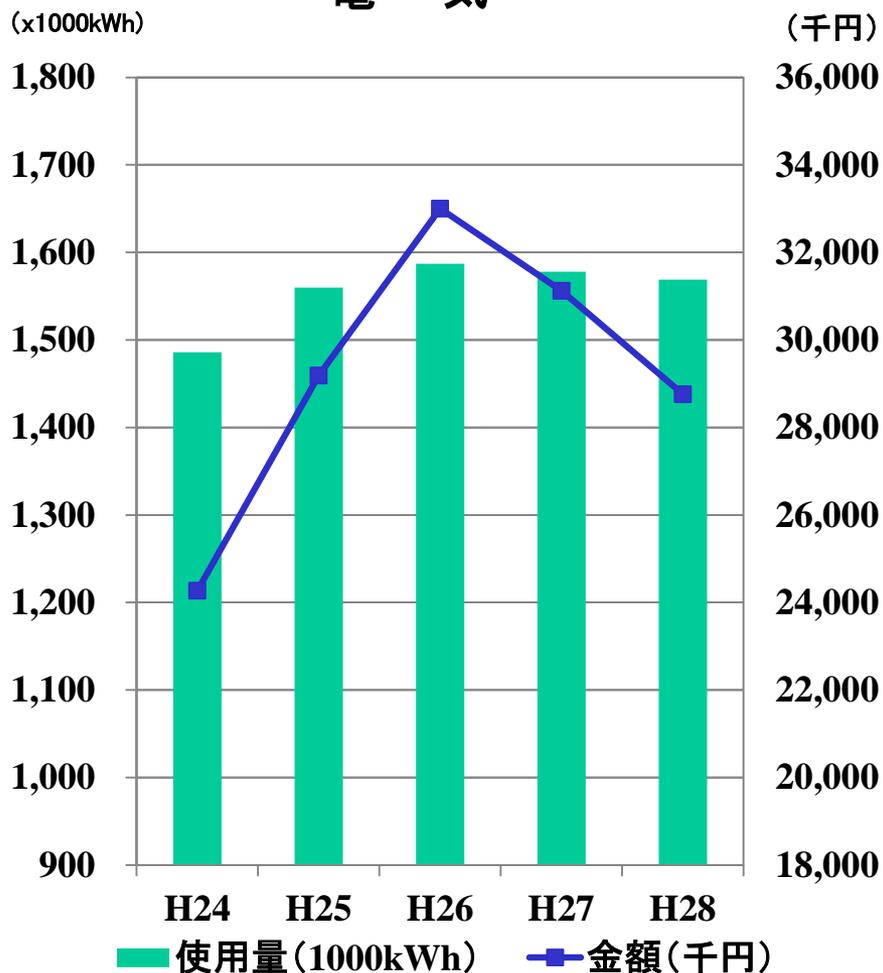


# 水道光熱費の推移（平成27-28年度）…（2）

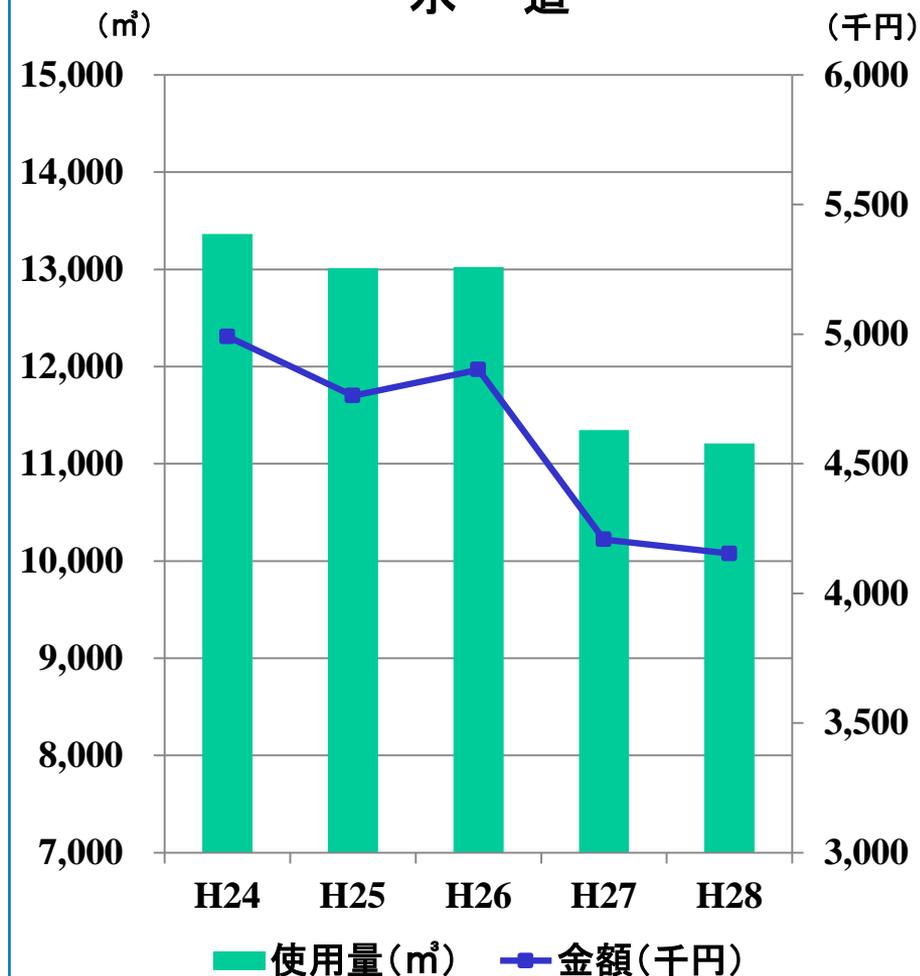


# 水道光熱費の推移（過去5年間）…（1）

## 電 気

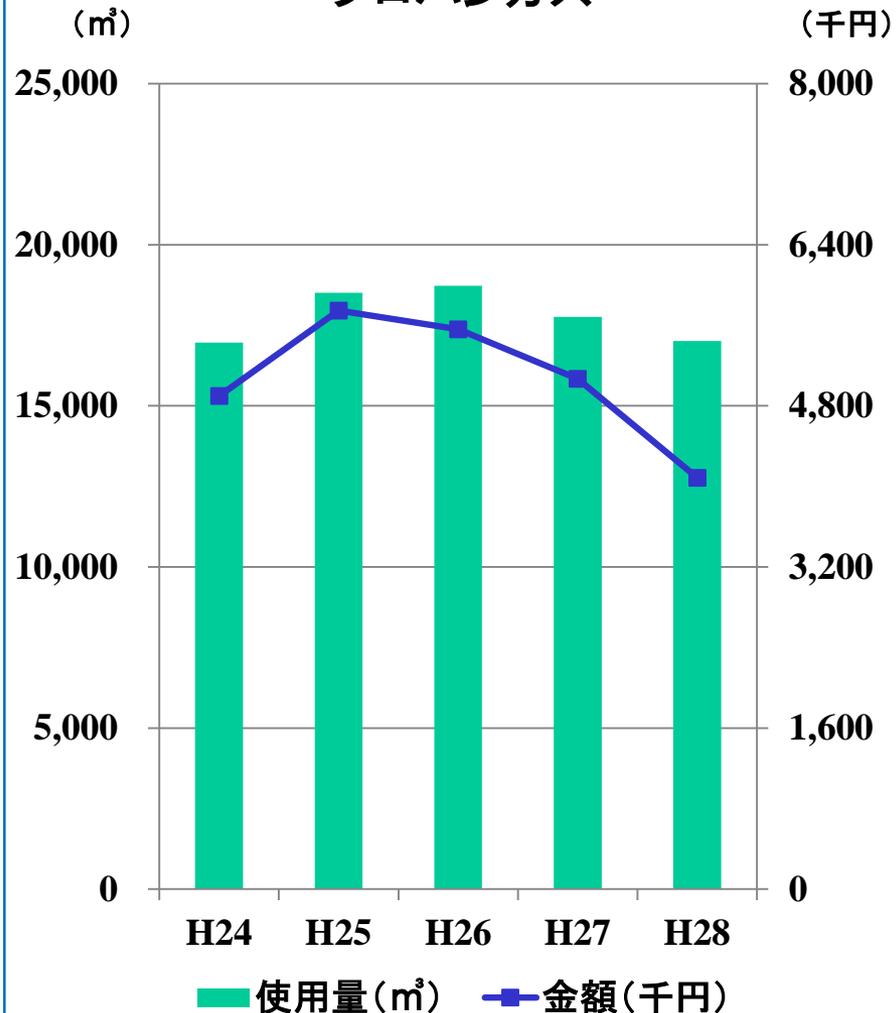


## 水 道

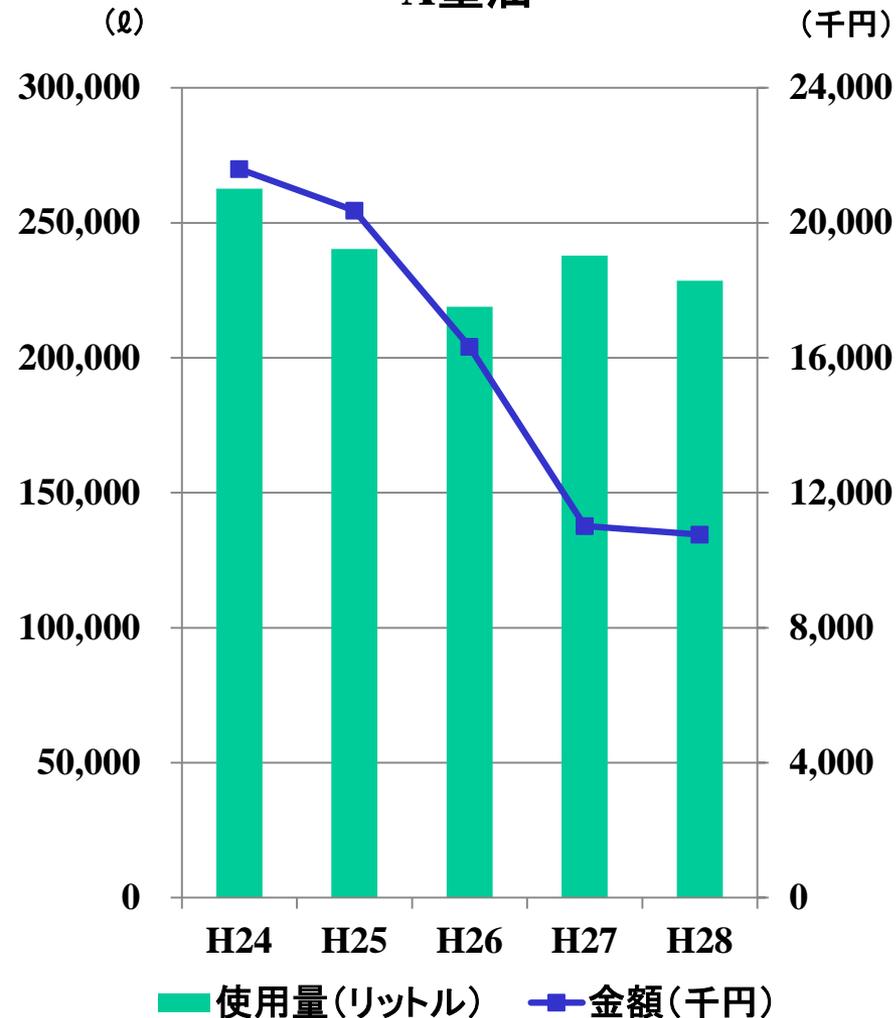


# 水道光熱費の推移（過去5年間）…（2）

## プロパンガス

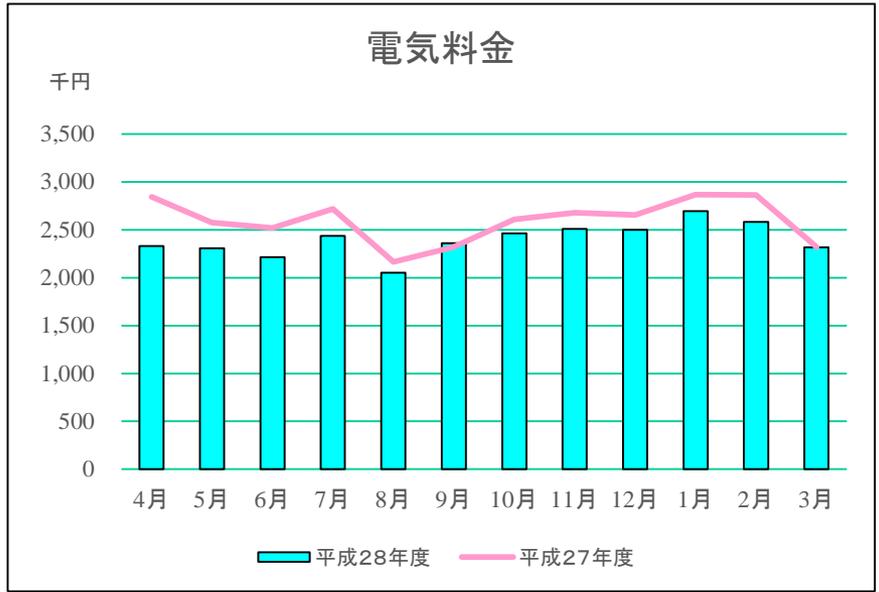
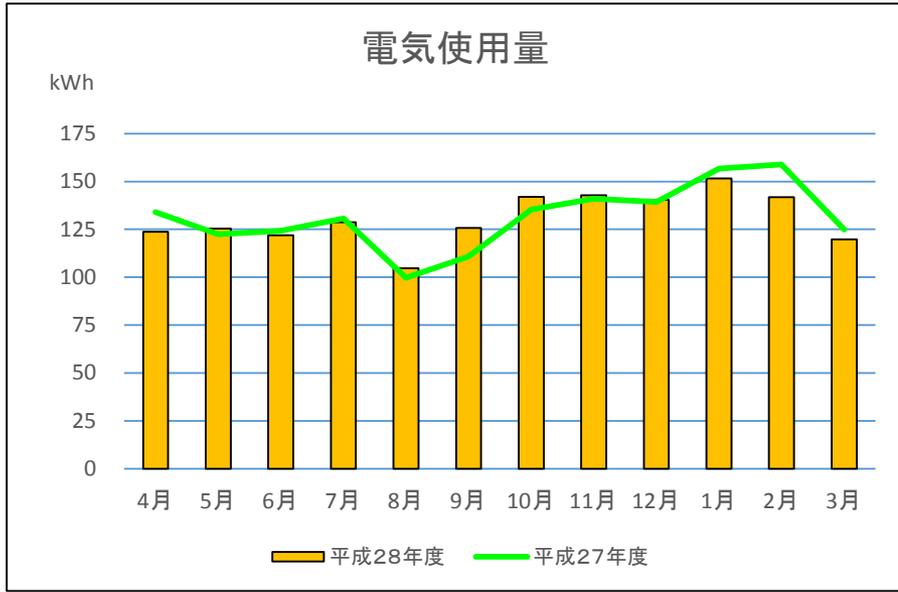


## A重油



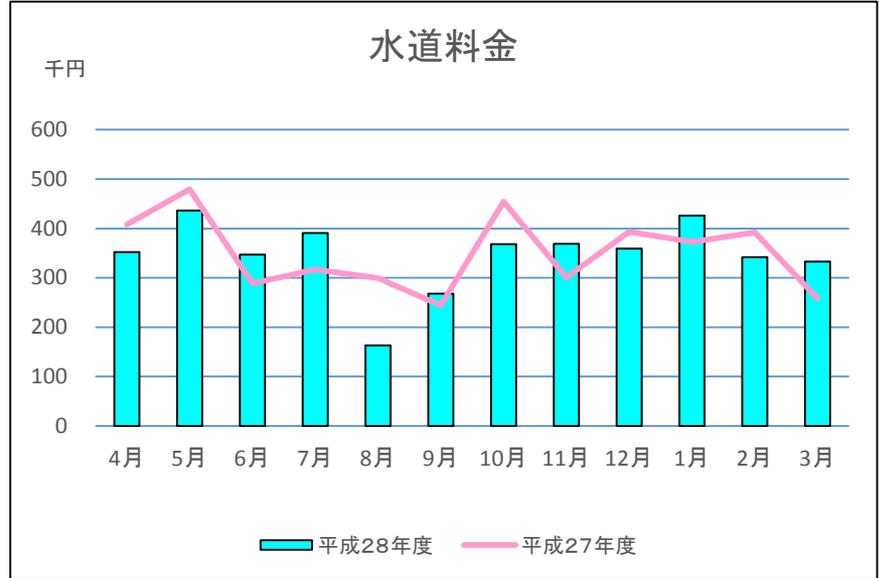
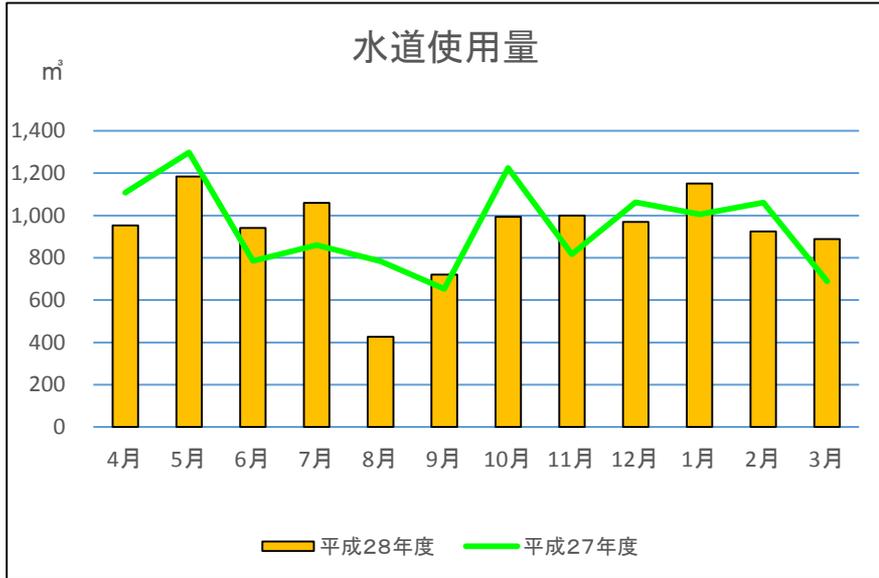
# 平成28年度水道光熱費・・・(1)電気

電気	平成27年度		平成28年度		対前年度比	
	(kWh)	(円)	(kWh)	(円)	(使用量)	(金額)
4月	134,033	2,843,678	123,747	2,331,523	92.33%	81.99%
5月	122,364	2,574,218	125,481	2,305,489	102.55%	89.56%
6月	124,294	2,518,123	121,908	2,215,350	98.08%	87.98%
7月	130,766	2,716,104	128,704	2,435,204	98.42%	89.66%
8月	99,674	2,163,960	104,761	2,050,876	105.10%	94.77%
9月	110,805	2,321,102	125,808	2,359,815	113.54%	101.67%
10月	135,356	2,607,474	141,900	2,460,821	104.83%	94.38%
11月	140,942	2,677,040	142,882	2,507,797	101.38%	93.68%
12月	139,392	2,654,228	140,418	2,497,384	100.74%	94.09%
1月	156,748	2,866,958	151,581	2,695,089	96.70%	94.01%
2月	158,944	2,862,428	141,835	2,582,377	89.24%	90.22%
3月	124,868	2,319,940	119,700	2,315,866	95.86%	99.82%
合計	1,578,186	31,125,253	1,568,725	28,757,591	99.40%	92.39%



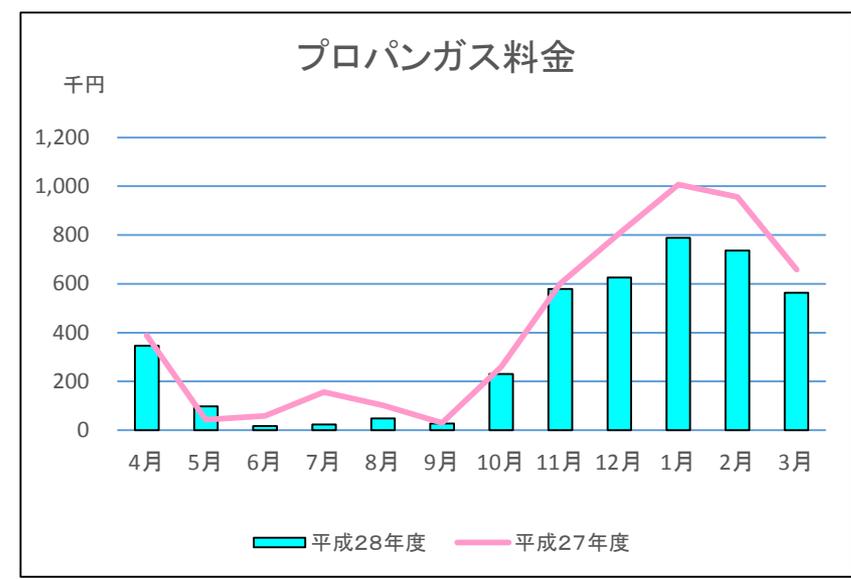
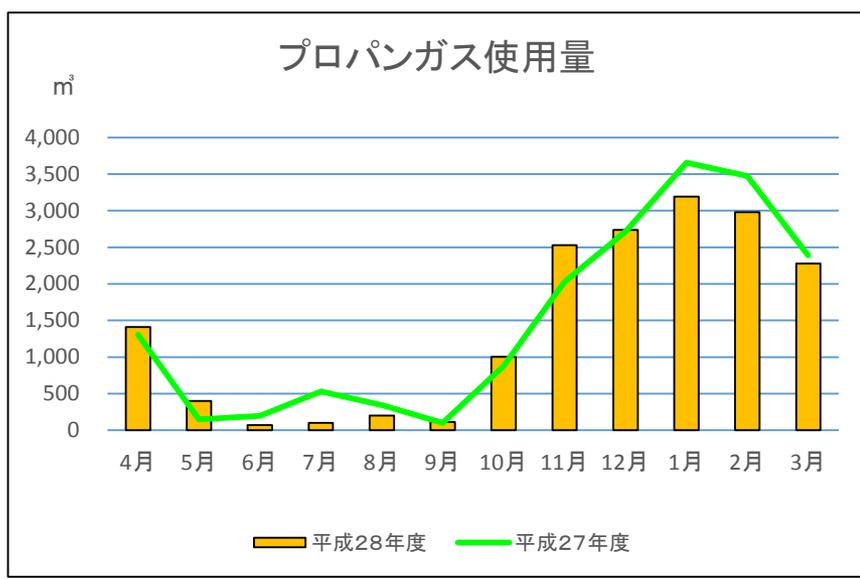
# 平成28年度水道光熱費・・・(2)水道

水道	平成27年度		平成28年度		対前年度比	
	(m <sup>3</sup> )	(円)	(m <sup>3</sup> )	(円)	(使用量)	(金額)
4月	1,108	408,387	953	352,313	86.01%	86.27%
5月	1,298	479,185	1,184	436,641	91.22%	91.12%
6月	785	288,625	941	346,858	119.87%	120.18%
7月	860	316,916	1,060	390,769	123.26%	123.30%
8月	783	299,472	427	163,229	54.53%	54.51%
9月	653	243,855	720	267,675	110.26%	109.77%
10月	1,225	454,141	994	368,168	81.14%	81.07%
11月	816	300,993	999	369,132	122.43%	122.64%
12月	1,063	393,313	969	359,008	91.16%	91.28%
1月	1,006	373,049	1,151	425,869	114.41%	114.16%
2月	1,061	391,768	924	342,015	87.09%	87.30%
3月	689	258,184	888	332,811	128.88%	128.90%
合計	11,347	4,207,888	11,210	4,154,488	98.79%	98.73%



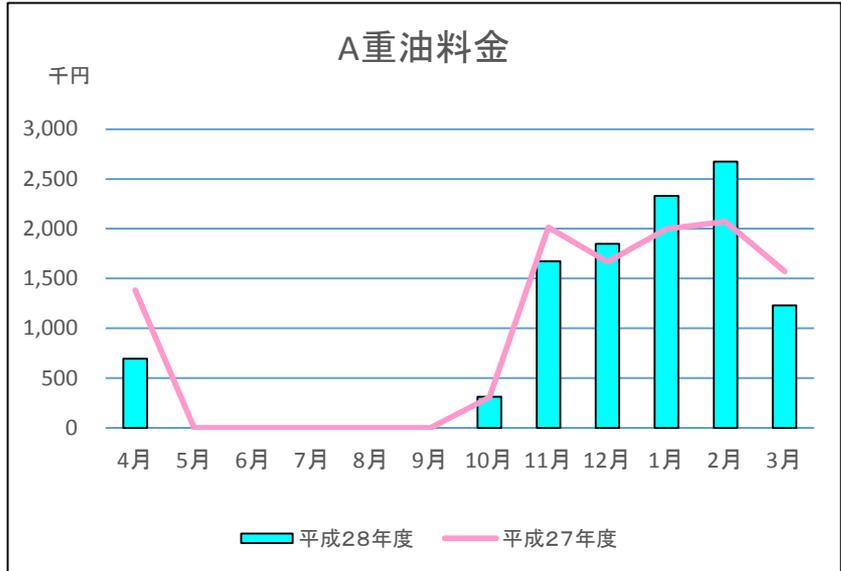
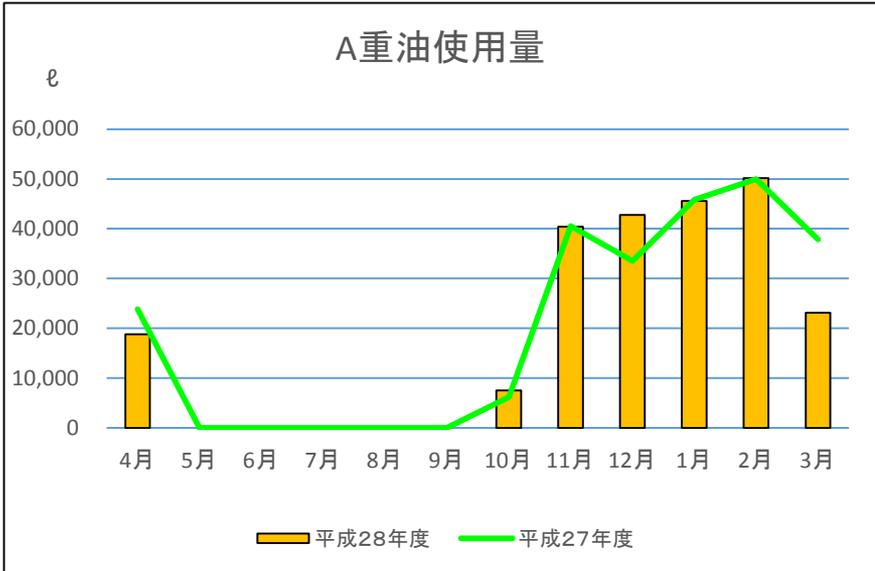
# 平成28年度水道光熱費・・・(3)プロパンガス

プロパンガス	平成27年度		平成28年度		対前年度比	
	(m <sup>3</sup> )	(円)	(m <sup>3</sup> )	(円)	(使用量)	(金額)
4月	1,305	387,585	1,412	346,165	108.20%	89.31%
5月	147	43,659	401	98,309	272.79%	225.17%
6月	196	58,212	72	17,602	36.73%	30.24%
7月	528	156,816	99	23,925	18.75%	15.26%
8月	342	101,574	201	48,625	58.77%	47.87%
9月	102	30,294	113	27,336	110.78%	90.24%
10月	876	260,172	1,004	229,830	114.61%	88.34%
11月	2,025	601,425	2,530	579,154	124.94%	96.30%
12月	2,715	806,355	2,735	626,205	100.74%	77.66%
1月	3,657	1,007,137	3,190	788,950	87.23%	78.34%
2月	3,474	956,739	2,978	736,518	85.72%	76.98%
3月	2,390	658,206	2,279	563,642	95.36%	85.63%
合計	17,757	5,068,174	17,014	4,086,261	95.82%	80.63%



# 平成28年度水道光熱費・・・(4)A重油

A重油	平成27年度		平成28年度		対前年度比	
	(ℓ)	(円)	(ℓ)	(円)	(使用量)	(金額)
4月	23,854	1,383,437	18,839	695,837	78.98%	50.30%
5月	0	0	0	0	0.00%	0.00%
6月	0	0	0	0	0.00%	0.00%
7月	0	0	0	0	0.00%	0.00%
8月	0	0	0	0	0.00%	0.00%
9月	0	0	0	0	0.00%	0.00%
10月	6,189	307,470	7,564	312,877	122.22%	101.76%
11月	40,550	2,014,524	40,435	1,672,553	99.72%	83.02%
12月	33,558	1,667,161	42,793	1,847,733	127.52%	110.83%
1月	45,821	1,999,262	45,586	2,328,715	99.49%	116.48%
2月	49,957	2,071,817	50,191	2,672,369	100.47%	128.99%
3月	37,888	1,571,291	23,117	1,230,841	61.01%	78.33%
合計	237,817	11,014,962	228,525	10,760,925	96.09%	97.69%



# 支援団体

## ▪ 後援会（会員：保護者）

課外活動（各種大会・コンテスト）、学生会、国際交流、学会発表等への  
経費補助

平成29年度予算：約2,794万円

## ▪ 同窓会

卒業生ネットワーク構築、卒業生を活用したセミナー・講演会 田面木塾など

## ▪ 産業技術振興会（会員：企業など154社）※平成29年10月末現在

企業説明会、学術交流会、シーズ集作成など産学連携に関する事業等への  
経費補助

平成29年度予算：約811万円

## ▪ 白樺会（会員：本校OB・OG）

課外活動業務を依頼

## 本校の話題と取組

### ○新モンゴル高専との交流（海外自主探究活動、図書寄贈、教員研修）

本校は、平成29年3月に新モンゴル高専と学術交流協定を締結した。平成29年度は両校の相互交流のスタート年として、本科1学年から4学年の学生12名（及び引率教員2名）が、平成29年8月20日から9月10日までの約3週間、モンゴル国ウランバートル市にある新モンゴル高専で「自ら課題を発見し、調査・実験を行い、答えを導き出す『自主探究活動』」に取り組んだ。

「ヨーロッパ・チーズの移動式熟成庫」「モンゴルでの放線菌の培養」など各々のテーマで臨み、テーマ別に新モンゴル高専の学生と協力して活動を行った。研修期間の最後には新モンゴル高専の全3、4年生と全教員の前で研究内容を発表した。

学生は帰国後も自主探究活動を続け、平成29年11月7日から10日に開催された八戸高専自主探究ポスター発表会において自主探究活動の成果を発表した。

また、本校の図書館で不用となった図書450冊を平成29年4月に新モンゴル高専へ寄贈したところ、7月に新モンゴル高専から圓山校長へ図書の寄贈に対する感謝状が贈呈された。

さらに、7月12日から22日までモンゴル国の教員6名及び行政官1名が本校で研修を受けており、その中には新モンゴル高専の教員の姿もあった。

なお、高専機構では日本型高専教育モデルの海外事業を展開しており、モンゴル・タイ・ベトナムの3国を重点国に定めている。その中で八戸高専はモンゴル国との海外展開事業実施の協力支援校に選定された。今後ますますのモンゴル国との交流が期待される。



### ○「八戸高専自主探究ポスター発表会」を開催

本校では平成27年度から4学期制を導入した。

4学期制を導入した最大の目的は、「自主探究活動」という全く新しい教育活動を本校の主要な教育として取り入れることにあり、学生は8～10月の自主探究期間に自ら調査や実験を行い、自分で見つけた課題に答えを導き出そうと取り組んだ。

そして、この活動の成果を発表する機会として、平成29年11月7日～10日の4日間にわたり本科全学年対象の

「八戸高専自主探究ポスター発表会」を開催した。開催期間中は、本校教職員・学生はもとより、文科省高等教育局審議官、高専機構理事、県内研究機関等職員、他高専校長、保護者など延べ900名を超える来場者があり、活発な質疑応答を行いながら、慎重に各ポスターを審査していた。



## 地域貢献

### 「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」による「化学の学校」を開催

平成29年8月7日～8日の2日間、中学生を対象とした「化学の学校～マテリアル・バイオ工学の世界へようこそ！～」

を開催し、模擬授業やものづくりなどの体験実験に臨んだ。参加した中学生や保護者は、教員や高専学生の話に熱心に耳を傾けたり、質問などがなされ、有意義な二日間となった。



### 平成28年度「企業内容説明会」を開催

学生に将来の職業観や勤労観を涵養させることを目的に、本科4年生と専攻科1年生を対象に平成29年3月2日に実施。6回目となる今回は参加企業が113社にのぼり、企業側の注目の高さをうかがわせた。

午前は34社がプレゼンによる事業概要説明を行い、午後は企業ブースを訪問し、学生は時折質問を織り交ぜながらより詳細な説明を受けた。



## 社会還元が期待される研究シーズ

### 生体内温度分布の「見える化」システムの開発

機械システムデザインコース 助教 井関 祐也

キーワード：医工学、温度計測、超音波、画像処理、ロボット

**ハイパーサーミア(腫瘍熱療法)**  
腫瘍細胞が死んで、痛みや腫れが軽減する効果がある腫瘍療法として注目されている。

針状電極

図1 ハイパーサーミア腫瘍治療の例 (針状電極挿入装置)

**変性性脳神経症に対する腫瘍療法**  
変性性脳神経症は腫瘍の発がんが原因の発症をきたす疾患であり、腫瘍を除去することで治療に効果的と、腫瘍の増殖を抑制する効果が期待されている。

超音波治療装置

図2 超音波治療装置の例 (超音波治療装置)

超音波画像を用いて体内温度分布の「見える化」を行う  
従来の効果的な治療のためには、生体内の温度分布を把握しながらの処置が必要となる。超音波画像での手術を考慮し、超音波治療装置を用いた温度計測技術の開発を目指す。

超音波画像による温度分布計測方法  
温度上昇に伴い、超音波画像が変化するので、画像処理 → 温度分布

**超音波計測実機構築**

超音波プローブ

超音波計測装置

図3 (a) 超音波計測装置 (b) 超音波計測装置の超音波画像 (c) 超音波計測装置の超音波画像 (d) 超音波計測装置の超音波画像 (e) 温度計測結果

**その他の研究**

医療支援ロボットの開発  
医療現場にロボット工学の技術と融合させ、医療支援ロボットアームの開発を行っている。

交通手段等における磁気制メカニズムの解明  
ハイスピードカメラや超音波計測技術を用いて、実験的検証から磁気制メカニズムの解明を行っている。

図4 研究用ロボットアーム

### 熔融金属製造プロセスの解析および熔融金属浄化に関する研究

マテリアル・バイオ工学コース 准教授 新井宏忠

近年、自動車等の軽量化を目的として金属材料の長寿命化・高強度化が求められています。また、その一方で、資源リサイクルの観点からスクラップの有効活用も模索されています。これらの要望に応えるには金属材料の高浄化が必要不可欠です。

そこで、熔融金属中の介在物や不純物、溶解ガス成分などを効率よく除去する方法やプロセス開発を検討・検証するために、メカニズム解明やモデル化などの基礎研究に取り組んでいます。

**【現在の研究テーマ】**

1. 非金属介在物の力学的挙動解析  
- 非金属介在物除去
2. 異相界面における物質移動解析  
- 不純物除去(ガス成分)

⇒ 熔融金属浄化による高強度化

材料の流れ

Input → 製造(資源生産性) → 使用(エネルギー消費) → ストック(社会蓄積) → 廃棄・再生(再生利用) → Output

高強度化 長寿命化

高リサイクル性

● テーマ例：熔融金属中不純物の挙動の予測・制御

- どれだけの速さで成長するのか？
- どの程度の除去効率が見られるのか？

A: ガス・フลักス

フラックスとの凝集

異相界面での凝集

同種介在物との凝集

脱介在物処理

異種介在物間の凝集

気泡付着・浮上分離

## 進路状況

○2017年度求人 (2017/12)

	本科卒業予定者	専攻科修了予定者	推薦選抜
求人数 (求人倍率)	2,293 (24.7 倍)	1,787 (99.3 倍)	学力選抜
進学希望者数 (合格率)	56 (96%)	13 (100%)	合計

## 入学志願者状況

○2017年度本科入試

### 【その他の八戸高専トピックス】

- 2017年9月：4校学術交流会の開催**  
 きざん八戸を会場に、弘前大学大学院理工学研究科・岩手大学理工学部・一関工業高等専門学校・八戸工業高等専門学校の4校学術交流会が9月15日に開催された。今年度は、本校が当番校として開催され、4校から合計33テーマの発表があり、参加した学生や教職員は、4校の学生の発表に熱心に耳を傾けていた。
- 2017年9月：「COC+事業」あおもり県企業内容説明会の開催**  
 2016年度に引き続き、今年度も青森県内の企業を知ってもらう目的で学生や教職員を対象に「あおもり県企業内容説明会」を9月23日に八戸商工会館で実施した。今回は青森県内に事業所を置く企業52社、教職員や学生約180名が参加し、盛況な説明会となった。
- 2017年11月：「産学交流の日」の開催**  
 グランドサンピア八戸を会場に、11月6日に東北工学教育協会高専部会主催の「産学交流の日」を開催した。今年度は本校が主管校として開催された。当日は、東北大学未来科学技術共同センター長の長谷川 史彦氏の特別講演などが行われ、東北地区の高専・大学教職員や企業の方々などを含め、参加者は60名を越えた。



### 【八戸高専学生の活躍】

- 2017年 3月：ジュニア農芸化学会で八戸高専学生グループが銅賞を受賞。
- 2017年 5月：平成28年度優秀団体として日本英語検定協会から文部科学大臣賞を受賞。
- 2017年 5月：第71回セメント技術大会で本校専攻科学生が最優秀講演者賞を受賞。
- 2017年 9月：第1回全国高専「発酵を科学する」アイディア・コンテストで八戸高専チームが最優秀賞を受賞。
- 2017年 9月：秋季青森県高等学校野球選手権大会で本校硬式野球部が4強入り。
- 2017年10月：第38回青森県高校総合文化祭で写真部門団体最優秀学校賞を受賞。
- 2017年10月：Honda エコマイレッジチャレンジ2017第36回全国大会グループⅢ(大学等クラス)に出場し、5位入賞。高専チーム中では全国第2位。
- 2017年11月：第24回東北地区高等専門学校文化部発表会絵画部門入選、写真部門特選及び入選。